

第 2 部

アメリカ合衆国及び連合王国における 外国人対象者処遇の状況及び対策

はじめに

第2部では、我が国における外国人対象者への対応策の参考とするため、平成12年11月から13年1月にかけて行った、海外での実地調査結果について述べる。調査対象国は、外国人対象者に関して豊富な経験と実績を有するアメリカ合衆国（以下「アメリカ」という。）及び連合王国である。

アメリカ及び連合王国における調査項目（両国共通）は、次のとおりである。

- 1 外国人等対象者^(*)の年間取扱い件数、現在の係属件数
- 2 1の外国人等対象者についての統計的データ
 - ① 国籍又は民族等、②性別、③年齢、④罪名、⑤プロベーション又は仮釈放等の期間
- 3 外国人等対象者の処遇等の関係で工夫している事項、課題となっている事項
 - ① 英語の不自由な外国人等対象者に対して提供されているサポートの内容。
 - ② 社会的・文化的背景の相違に由来する処遇上の困難に、どのように対応しているか。
 - ③ 外国人等対象者の就労援助はどのようにしているか（外国人又は少数民族であるがゆえの障害の克服方法）。
 - ④ その他、外国人等対象者の処遇上工夫している点及び問題となっている点
 - ⑤ ②～④について、外国人等対象者の処遇関係の文書化された統一基準やマニュアル等はあるか。
- 4 外国人等対象者に対する特別の処遇プログラム又は処遇オプション（以下「プログラム等」という。）の存否
- 5 4が存在する場合、下記の諸事項についての調査
 - ① プログラム等の定義（名称）
 - ② プログラム等の目的
 - ③ プログラム等の刑事司法制度における位置付け（法的根拠）
 - ④ 当該処分・措置の決定権者（司法機関、行政機関）
 - ⑤ プログラム等の実施主体（司法関係機関、行政機関－警察、矯正、保護、地方自治体、民間団体など）
 - ⑥ プログラム等の開始（創設）時期
 - ⑦ プログラム等の実施地域（場所）
 - ⑧ プログラム等の対象（適用要件など）
 - ⑨ プログラム等の実施内容（当該プログラムの概要、運営上の多様性）
 - ⑩ プログラム等の実績（予算、対象者数、社会資源との連携、再犯防止効果等）
 - ⑪ プログラム等の課題

(*) 1) ここで外国人等対象者とは、米国籍又は英国籍を有しない在留者（foreign nationals）及び米国籍若しくは英国籍又は米市民権若しくは英市民権を有する少数民族（ethnic minorities）で、これらの国の法令に違反して、プロベーション、仮釈放又は早期釈放（early release、連合王国のみ）の対象となっている者をいう。

第1章 アメリカ合衆国

第1 調査実施地域

1 州・郡・市

(1) ニューヨーク州

- ① ニューヨーク市刑事司法調整官事務所 (Mayer's Office of the Criminal Justice Coordinator)
- ② ニューヨーク市保護観察所(成人) (The City of New York, Department of Probation)
- ③ ニューヨーク市矯正局 (The City of New York, Department of Correction)
- ④ ニューヨーク市矯正局ライカーズ島刑務所群 (Rikers Island Correctional Facilities)
- ⑤ ニューヨーク州行政局プロベーション・矯正部
(State of New York, Executive Department, Division of Probation and Correctional Alternatives)

(2) メリーランド州

- ① メリーランド州公共安全及び矯正局仮釈放・プロベーション部
(Department of Public Safety & Correctional Services, Division of Parole and Probation)
- ② モントゴメリー・カウンティ, シルバー・スプリング保護観察所
(Silver Spring Office, Montgomery County)
- ③ モントゴメリー・カウンティ, ロックヴィル保護観察所 (Day Reporting Center, Rockville Office)

2 連邦

- ① 連邦裁判所事務局プロベーション・公判前サービス部
(Administrative Office of the United States Courts, Division of Probation and Pretrial Services)
- ② コロンビア特別区連邦保護観察所 (United States Probation Office, District of Columbia)

第2 州・郡・市レベルの外国人等対象者について

1 ニューヨーク州

(1) 総説

ア ニューヨーク市の外国人の状況

アメリカ自体が他国からの移民で構成されている国であるが、特にニューヨーク市では、多様な国の出身者が見られ、また、移り住んでくる人達も、その時どきの社会状況を反映している。ニューヨーク市が受け入れてきた外国人 (foreign nationals or ethnic minorities) は、最近まで中米のドミニカ共和国出身者が第1位であったが、1999年は、旧ソ連邦出身者がそれに取って代わった。また、ニューヨーク市の第二公用語は、ヒスパニック系人口の多さを反映して、スペイン語が定着しつつある。これらの外国人は、いずれも自分たちのコミュニティを形成して、特定の地域にかたまっている場合が多い (ブラック・カリビアン系、ロシア系、中国系 [チャイナタウン]、韓国系 [コリアン・タウン]、ベトナム系、ヒスパニック系等)。彼らは、それぞれのコミュニティの中で、自分たちの言語や文化を守って生活しているので、彼らと接する場合、異文化間 (cross-cultural) の文化交流の視点が重要であるとされている。

イ 外国人等対象者に接する場合の対応策

(ア) 基本的方針

ニューヨーク市の基本的な政策方針としては、外国人であることを理由として、刑事政策上特別の扱いはしない。対象者処遇の基本は、そのニーズに的確に答えることである。その意味で、言語の障壁や文化摩擦は、外国人等対象者が有するニーズの一つに位置づけられ、就労援助、教育、医療等の保護の必要性など同様にニーズ・レベルでの対応が採られている。ニューヨーク市が重視している点は、対象者の再犯可能性の程度及び暴力犯罪者であるか否かであり、この点においては、外国人であるか否かは区別の要素ではない。

(イ) 職員研修

すべての対象者について、人種、言語、文化、性別、年齢などの違いに関わらず、個人の尊厳を尊重 (respect dignity) し、平等な取扱い (equal treatment) を受けることが保障されるように、関与する全ての職員を対象とした内部研修 (in-house training) を行い、外国人等対象者 (エスニック・グループの構成員) が、不利な扱いを受けることのないような体制を構築する努力がなされている。

(ウ) 言語の障壁 (language barrier) に対して

通訳バンク (Language Bank) の活用—約30万人のニューヨーク市職員の中には、多様な民族の出身者が含まれている。そこで、これらの者の中からボランティアを募り、語学テストに合格した者を通訳バンクに登録している。通訳バンクの利用は、外国人等対象者に限ったことではないが、例えば、保護観察官と対象者の面接時 (保護観察所での面接及び対象者宅の訪問) に活用している。法廷通訳のような一定の公的資格を求められる通訳を、日常的に用いることは予算的に無理なので、通訳バンクはその点を補完する制度として有効である。ちなみに、メリーランド州モントゴメリーカウンティでも、小規模ながら充実した内容の通訳バンクがある (後述)。

(エ) 就労支援

就労体験プログラム (Work Experience Program, WEEP) の活用—厚生局 (Department of Health) と労働局 (Department of Human Resource Administration) が共管しているプログラムで、外国人等対象者も含め、求職活動を広く支援している。

(2) ニューヨーク市刑事司法調整官事務所

刑事司法調整官は、市長が直接任命する、市長直属の機関で、市の刑事司法等関係機関 (警察、消防、矯正、保護観察、少年司法その他) 相互及び裁判所、検察、州の刑事司法機関相互の連絡調整を担当している。

調整が効果を発揮している具体例として、(a) 警察と保護観察所が協力した特別の犯罪予防プログラム（後述）を創設したこと、(b) マンハッタン地区に5人いる地方検事と刑事司法の運営に関して柔軟な対応ができるよう特別の協力関係を結んでいること、(c) 裁判所にプロベーションの遵守事項違反に対する措置等を保護観察官が求める場合、迅速・柔軟（機械的、一律にプロベーションを消す等しないで、より事案に即した対応をする。）な対応がなされるよう、特別協力判事 (Special Dedicated Judge) を指名していること等がある。

(3) ニューヨーク市保護観察局（成人）

ア 外国人等対象者への統合的な対応

(ア) 従来への対応への反省

外国人等対象者の処遇には、言葉の障壁と文化摩擦が不可分のものとして現れることが多い。真に意志疎通を図るには、単に言葉のレベルでコミュニケーションがとれているだけでなく、相互に異文化に対する十分な理解を持っていることが重要である。この観点から、外国人等対象者へ適切に対応するには、2か国語に通じたバイリンガル (bilingual) であると同時に、二文化併存的バイカルチュラル (bicultural) であることが不可欠である。

また、バイカルチュラルとなるためには、実際に彼らのコミュニティやその中の個々の家族に深く関与してゆくことが前提となる。その意味で、通常のケースの処遇の場合よりも一層、地域社会に（保護観察所が）入ってゆく (try to get into the community) ことが必要である。従来、保護観察所は、裁判所の中に事務所を設けていることが多いこともあって、地域社会との関わりは薄かった。しかし、それでは、外国人等対象者の真の姿を理解することはできない。

以上のような反省に基づいて、下記のような施策が採用され、外国人等対象者の処遇の充実に寄与している。

(イ) 地域連絡調整官 (Community Liaison Officer)

地域連絡調整官とは、エスニック・コミュニティから、バイリンガルかつバイカルチュラルな者を、警察及び保護観察所と対象者との間の連絡調整を担当するための専従職員として採用する制度で、ニューヨーク市独自のものである。その身分は常勤のニューヨーク市職員である。この職員の採用に当たっては、エスニック・コミュニティを含む地域の青少年諮問委員会 (Youth Advisory Committee) や教会 (カトリックやプロテスタントのchurch) などに、適任者の推薦を求め、それを受けてニューヨーク市保護観察局の方で面接を行って採否を決定する。

地域連絡調整官の機能は、対象者やその家族の状況、ニーズなどを的確に保護観察所へ伝えるとともに、保護観察実施上必要な事項について、確実に対象者に理解させるのを援助することである (例えば、裁判所で1回誓約しただけでは、保護観察の遵守事項はなかなか理解しがたい部分があるので、それを文化的な違いも踏まえながら、分かりやすく解説すること)。保護観察官が対象者宅を訪問する際の通訳、対象者やその家族が社会福祉サービスなどを受給する際の援助者としての役割も持っている。

(ウ) 近隣保護計画 (Operation Neighborhood Shield)

前記の刑事司法調整官が調整を行った結果創設されたプログラムで、警察と保護観察所が協力して地域社会に深く関わりながら、防犯や処遇等を進めようとする制度である (パートナーとしての地域社会 - community as a partner との考え方が強調される)。本来の目的は、再犯の防止に最大の重点が置かれているが、その前提として、日常的に、対象者及びその家族に関わり、ドメスティック・バイオレンス (domestic violence) など家庭内での問題に対応したり、本人の通う学校などにも赴くなど、進んで各

種の相談や調整を行おうとするところに特徴がある。特に、外国人等対象者の処遇の場合は、地域連絡調整官をこの計画に参加させることにより、より一層きめ細かな処遇が可能となるとされている。

(エ) エスニック系の保護観察官採用

バイリンガルかつバイカルチュラルな者を、保護観察官として採用し、外国人等対象者の処遇に当たらせる。実地調査時に面談した職員のうち、若年成人対象者（16歳以上）の就労等支援のための特別のプログラム（Blue Group）の運営担当者は、ヒスパニック系の女性保護観察官であった。その話によると、エスニック系の若年成人は、16歳前後に、文化葛藤などを背景として自分のアイデンティティ確立に困難をきたした結果、示威的な暴力犯罪や薬物犯罪などに走るケースが少なくない。このプログラムにも、そのような悩みを抱えたヒスパニック系などの対象者が多く含まれているので、犯罪には至らなくとも同様の経験を経た者（この運営担当者）が処遇に当たると、お互い共感できる部分があって処遇の円滑化に寄与しているとのことであった。

イ 言葉の障壁への対応

(ア) 法廷並びにプロベーション導入時の説明及び遵守事項の誓約

資格を有する法廷通訳を活用し、特に遵守事項違反に対する処分等、本人の不利益となる事項について、正確に伝えるように配慮している。

(イ) 保護観察所での面接

a 電話通訳

ランゲジ・ライン（Language Line）という民間団体の提供するサービスで、電話を介して、その場で対象者と保護観察官との会話を通訳するサービスを利用している。同様のサービスとして、ワシントンDCやメリーランド州で活用されている、L L E - L I N Kというサービスがある（後述）。通訳費用は、いずれも公費負担である。

b 通訳バンク（前記刑事司法調整官事務所の項参照）からの通訳の派遣。

(ウ) 対象者宅の往訪

- ・可能な場合、上記通訳バンクの活用。
- ・前記の地域連絡調整官の支援を受ける。

ウ 文化摩擦への対応

(ア) 同じエスニック・グループのコミュニティ内の社会資源を活用

前記のように、ニューヨーク市では、それぞれのエスニック・グループが、それぞれ自分たちのコミュニティを作って住んでいる地域がある。また、移民としての歴史も相当程度に及ぶ場合が多いため、医師、弁護士、コンピュータ関係の技術者など、各種の専門的知識を要求される仕事に就いている例も少なくない（母国で資格や技術を得て移民した場合、アメリカ合衆国に移住後これらの資格等を取得した場合、双方を含む。これらの富裕層が、同国人支援組織に資金を提供している例もある。）。その結果、これらのエスニック・コミュニティの中から活用できる資源はかなり広範にわたっている。一つの成果は、前記の地域連絡調整官制度の創設であるが、それ以外にも、コミュニティ内の自治組織などに協力を依頼したり、特定のニーズに対応する団体・組織などに対象者を委託（referral）することも少なくないとされている。

(イ) 同国人支援団体の活用

ニューヨーク市にある同国人支援団体に協力要請をする。例えば、ニューヨーク・アジア人女性センター（New York Asian Women's Center [NYAWC]）が提供している、中国韓国、日本その他のアジアの言語を話す女性で、ドメスティック・バイオレンスや性的虐待にあっている者に対する24時間ホ

ットラインを活用したり、ニューヨーク市在住のヒスパニック系住民の子供の育児や教育を支援するヒスパニック系児童及び家族のための委員会 (Committee for Hispanic Children and Families, Inc., 資料1) への協力要請を行うなどしている。

(ウ) 外国人支援団体の活用

より広く、全米に基礎を置く、外国人学生の支援専門の団体など各種の外国人支援団体・組織に、就労・教育等の関係での支援を依頼している例もある。ニューヨーク市の場合、外国人が多く、これらの者のニーズも高いため、各種支援等団体の事務所が設置されている例が多い。調査者も訪問したノバ・アンコラ (保護観察所が行っている就労支援プログラム、次述) も、外国人等対象者の体験就労受入れ先に、このような社会資源を活用している例の一つであり、全米プエルトリコ人フォーラム (National Puerto Rican Forum, ヒスパニック系団体) が発行している最新の機関誌において、最優秀実務の例として紹介されている。

エ 統合的就労等支援プログラム

ノバ・アンコラ (Nova Ancora) は、ラテン語で「新しい錨」(new anchor) ないし安定の手段を意味し、職業訓練と就労に必要な生活技能訓練などを組み合わせたプログラムである。1980年代に一度開始されたが、予算逼迫のため1990年に一時停止状態となったものを、1994年に再構築の上、再スタートさせたものである。その後は、顕著な成果をあげたため、現在では多くの会社や複数の労働組合に支持され、本採用の前段階としての試験採用のための職場を数多く提供されるに至っている (資料2)。

外国人等対象者の場合、言葉の障壁などのため十分な教育を受ける機会がなかったり、文化的な違いから、求職面接や職場で要求される日常的な応対に必要な生活技能を備えていないこと等が原因で、適職に就けず、結果として犯罪や再犯に走る例が少なくない。ノバ・アンコラでは、このような点にも着目して、通常の職業訓練以外に、次のような施策を実施している。

(ア) 日常的な生活技能の習得

ここでは、アメリカ (ニューヨーク) で生活・就労する上で、日常生活上必要な技能の習得のための訓練が行われる。その過程で、外国人の場合、アメリカでの生活上の常識に関する知識等の不足が充足されるようになっていく。具体的には、ネクタイの結び方から始まって、生活技能 [social skills] 100項目以上に関する詳細なチェックリストが用意されており、各人ごとに、不足部分を把握した上で、その必要性に応じた教育・訓練が行われる。

(イ) 求職活動の前提となる最低限の学歴の取得

このプログラムでは、高校卒業程度の学力を証明するGED (General Equivalency Diploma, 直訳すると一般同等修了証書 [高校卒業程度学力認定]) Exams (試験) の合格を援助することも、その内容の一部に組み込んでいる。その理由は、多くの職種で、高校卒業程度の学歴は、最低限の要件とされているからである。そして、外国人等対象者の場合、前記(ア)とともに、言葉の障壁などの要因も重なって、この要件を充足しない者も少なくないと言われている。

以上のプログラムなどを経て、職業訓練の達成や求職活動における成功体験を対象者に得させること通じて、このプログラムは、最終的に、対象者の自立心 (self-sufficiency) や自尊心 (self-esteem) を向上させることを目的としている。

2000会計年度 (一般の9月30日区切りではなく、6月30日区切り) の実績は、予定対象者数1,350人に対して、実人員1,480人であり、1996会計年度の3倍となっている。

ちなみに、ニューヨーク市では、このような保護観察対象者であることを承知で雇用した雇い主に対しては、市から1人あたり相当額の補助金が支給され、かつ、一定の減税措置が適用されるようになって

ており、その就職が少しでも容易になるよう、工夫されている。

オ 保護観察関係職員の研修

刑事司法調整官事務所の項で紹介した内部研修を、保護観察官など、保護観察に関与するすべての職員に対して実施するものである。ニューヨーク市の場合、警察、保護観察局、矯正局など、それぞれの官署が独立して内部研修所を持っている^(*)2)。

(4) ニューヨーク市矯正局（矯正施設）

1999会計年度のニューヨーク市立刑務所の新規入所者は、127,029人、1日当たりの平均在所人員は、17,562（男子15,813人、女子1,749人）であり、平均在所人員全体の約64%を未決拘禁者が占めている。収容者1人当たりの年間収容経費は、47,083ドル（約518万円、1\$=110円）である^(*)3)。

収容者の人種・民族構成比は、黒人56%、ラテン系35%、白人7%、その他2%となっている。

訪問したライカーズ島(Rikers Island Correctional Facilities, Bronx収容者17,000人を誇る複合刑務所群)にある矯正施設の一つである青年拘置所(Adolescent Reception Detention Center)は、1972年に設置され、未決囚及び1年以下の拘禁刑(1年を超える者は、州立刑務所に収容)に処せられた青年男子(16歳以上が刑罰の対象)を収容する施設で、定員2,530名である。青年拘置所に収容されていた者には、黒人がかなり多く見られ、アジア系はほとんどいなかった。青年拘置所次長の説明では、外国人等対象者であることを特別に意識した処遇は行っていないが、黒人及びヒスパニック(ラテン系)のギャングメンバーの処遇には大変苦勞しているという。言語の障壁のある者については、通訳を依頼しており、宗教上の理由のある者については特別食を供しているとのことであった。所内では、GED取得のための学習クラス(1999年受験者536名、合格率69%)、コンピュータ技能取得のための教室、英語、数学、社会、法律、生活技能訓練、情操教育の一環としての絵画教室、その他の職業訓練コース(全体で、1999年の1日当たりの平均コース取得者135人)などが開設され、多くの受講者で賑わっていた。

(5) ニューヨーク州行政局プロベーション・矯正部

ニューヨーク州には、57のカウンティ(郡)とニューヨーク市という合計58の法域があり、それぞれの法域が独自にプロベーション部を持っている。州のプロベーション部は、これらの各地域のプロベーション部を監督する機能を担っているが、対象者の指導監督に関しては、全面的に各地域のプロベーション部に任されている。

各地域のプロベーション部における処遇等のプログラム等の状況を見ると、個々の対象者の必要性評価(needs assessment)に基づいて作られた特別のプログラムなどに対して、対象者を割り当てるといのが、基本的スタイルである。人種や民族のみを理由として特別に作られたプログラムは存在しない。

統計上は、人種及び民族として、白人、黒人、ヒスパニック、その他、不詳という5つのカテゴリーで対象者を把握しているが、より詳細な、民族的起源や国籍などについては調査していない。過去10年間において、ニューヨーク州全体で各年ごとに新たにプロベーションの宣告を受けた者の総数は、4万件から5万件の間で、ここ数年は、48,000件前後であったが、1999年はやや減少して46,000件台となっ

(*)2) 成人プロベーション関係の1999会計年度の統計を見ると、係属件数が、1999年10月に80,444件、2000年9月に82,342件であり、その間の新受件数は、17,919件である。保護観察官1人当たりの平均ケースロードは、一般事件が241.9件、集中指導プロベーションが26.9件である。

Source: The City of New York, Preliminary Fiscal 2000, Mayer's Management Report.

(*)3) Source: The City of New York, Preliminary Fiscal 2000, Mayer's Management Report.

ている。人種及び民族については、男女ともいずれの年においても、白人が最も多く、次いで黒人、ヒスパニックの順となっている。1999年は、白人（総数の49.4%）、黒人（同32.1%）、ヒスパニック（同14.8%）の順であり、これを性別及び有罪宣告区分別に見たのが、2-1-1表である（資料3）。

2-1-1表 人種・民族・有罪宣告区分別プロベーション言渡し人員
アメリカ・ニューヨーク州（1999年）

性別	人種・民族	合計	有罪宣告区分別言渡し人員			
			重罪	軽罪	少年・青年	違反
男	黒人	11,743	4,634	5,604	1,362	143
	ヒスパニック	6,017	2,890	2,667	426	34
	その他	870	416	380	59	15
	不詳	564	154	308	74	28
	白人	18,743	5,601	10,438	2,351	353
	合計	37,937	13,695	19,397	4,272	573
女	黒人	3,211	1,139	1,784	240	48
	ヒスパニック	885	414	409	54	8
	その他	146	63	71	12	-
	不詳	146	30	103	7	6
	白人	4,308	1,122	2,695	417	74
	合計	8,696	2,768	5,062	730	136
総数		46,633	16,463	24,459	5,002	709

注 State of New York, Executive Department of Probation and Correctional Alternatives, *Client Database System (CDS)* による。

2 メリーランド州

(1) メリーランド州における外国人等対象者の状況

2000年11月現在、実際に指導監督を要する状態にある保護観察対象者（under active supervision cases）約46,000人の人種・民族構成比は、白人（36.5%）、黒人（62.7%）、アジア系（0.1%）、アメリカ先住民等（0.3%）となっている（資料4）。

シルバー・スプリング保護観察所では、多数のスペイン語を話す対象者が係属中（エル・サルバドル等出身）であり、他に、西アフリカ及び旧ソ連邦出身の者も相当数係属している。これらの者については、言葉の障壁及び文化葛藤の問題が認められる。文化葛藤は、新規にアメリカ合衆国へ上陸したほとんどの者が、同化の問題（assimilation problems）として経験するものである。特に、文化葛藤に関しては、エスニック系の男子青年が自己防衛の手段として、あるいは自分たちの文化的アイデンティティの再確認の手段として、ギャング活動に加わる例がしばしば見られ、それらがプロベーションの遵守事項違反に該当する場合があるため問題となっている。

以下では、主として、外国人等対象者への取組に関し、訪問した2つの保護観察所の取組の内容について述べる。

(2) メリーランド州モントゴメリーカウンティ、シルバー・スプリング保護観察所

ア 言葉の障壁への対応

(ア) 多数のヒスパニック系対象者のため、シルバー・スプリング保護観察所だけでも、スペイン語が堪能な3人の者を保護観察官として採用し、彼らの処遇に当たらせている。

(イ) 対象者が提出を要する基礎的身上事項を記載した書類等、処遇上重要ないくつかの書類につい

て、スペイン語版を用意している。

(ウ) 通訳サービスの活用

a L L E - L I N K

民間の通訳会社で、スペイン語、ヴィエトナム語、日本語、イタリア語など、アジア及びヨーロッパの主要な21の言語について、電話通訳が有料で提供されている。費用は、すべて州政府が負担することになっている（資料5）。

b 法廷通訳

法廷での通訳に続いて、プロベーションの初回面接時の説明にも同席し、それ以降の通訳は、L L E などに引き継ぐ。

イ 就労援助

社会資源コーディネーター (Community Resource Coordinator) を、1年単位の契約職員として採用し、保護観察所の中に常駐させて、外国人等対象者を含め、就労関係の情報や職業訓練の提供を行うとともに、州の雇用サービスの事務所と連携を図って、就労援助をしている。

ウ 保護観察官等職員の研修

それぞれのエスニック・グループの対象者に対応する際、注意すべき文化的事情等について、具体例などをもとに情報提供している。

(3) メリーランド州モントゴメリーカウンティ、ロックヴィル保護観察所

ア 薬物対象者への対応

薬物対象者の処遇に関しては、厚生局が保護観察所に協力して、50種類を超える処遇プログラムを提供している。これらの処遇プログラムは、グループ処遇が多いが、そのグループのリーダーの一部として、少数言語契約者 (minority language contractor) を採用している。具体的には、スペイン語や韓国語の契約リーダーがおり、主にカウンセリング・クラスなどで、バイリンガルかつバイカルチュラルな特性を生かして、外国人等対象者の処遇に当たっている。

イ 言葉の障壁への対応

通訳バンク (Language Bank Agency) を活用している（資料6）。このバンクは、登録ボランティアが、各種の言語について、電話、訪問その他各種の形態での通訳サービスを提供する制度である。郡の行政局傘下にあるボランティア及び地域サービスセンター (Volunteer and Community Service Center) が運営窓口となっており、費用は無料である。通訳人名簿を見ると、危機介入場面でも通訳依頼ができるか否か、及び提供できる通訳の種類（口頭、筆談、翻訳）などが明記され、ロックヴィル保護観察所管内だけで、アフリカの少数言語までカバーした30数種の言語について126人のボランティアがサービスを提供している。通訳人名簿も、2か月に1回程度更新されており、実践的で最新の情報が提供されていることが窺われた。

第3 連邦レベルの外国人等対象者について

1 外国人等対象者処遇全般

アメリカ合衆国は、その人口の大半が、他国からの移民によって構成されている^(*)ので、合法的な移民に対する、公的な各種の社会的サポートシステムが整備されている。それらに加えて、相当の人数がアメリカに移住し、かつ、移住後ある程度の期間を経ている者については、同国人による非営利の同国人（移民）支援団体が、各地域及び全国規模で数多く存在している（ブラック、ヒスパニック系、アジア系、旧ソ連邦系など。団体の組織力としては、連邦、州、郡、大都市など各種のレベルが存在する。）。

これらの、公的又は私的なサポートを、プロベーションサービスが効果的に活用することで、英語の不自由な外国人等対象者に対する支援等の処遇の円滑化を図っている。

通訳については、資格のある法廷通訳に関して、政府の報酬基準（standard fee for government）があるので、それ以外のプロベーションの面接等の場面での通訳の活用に関しても、それに準じた扱いとしており、高額の通訳料を支払っているわけではない。

2 プログラム開発担当官（Program Development Coordinator）

外国人等対象者の係属件数など、各連邦保護観察所のニーズに応じて、連邦裁判所事務局の方で予算を配分している。その際、必要性が高いと認められれば、外国人等対象者に関する社会資源を保護観察処遇上の必要性に応じてコーディネートする、専従の担当官（公務員）を置くことを認めている。担当官は、言葉の障壁や文化摩擦への効果的対応が可能となるよう、各地域の社会資源を開拓したり、保護観察所とそれらの間の協力等関係を構築したりすることによって、処遇の円滑化を側面からサポートしている。

ちなみに、英語の不自由なヒスパニック系が多いのは、メキシコとの国境を抱えた、カリフォルニア州南部、アリゾナ州、ニューメキシコ州、テキサス州などである。

3 家族への説明会（Family Orientation Session）

必要性の高いヒスパニック系の対象者とその家族で、英語が不自由な者に対して、通訳を介して、プロベーションに関する導入時の説明会を必要に応じて開催している。その目的は、プロベーション制度の概要と対象者の権利及び義務（遵守事項の遵守とその違反に対する制裁など）について分かりやすく説明することにある（understanding requirement of probation）。また、その際文化的違い等に基づく法制度の違いについても理解を促すように努めている。

(* 4) アメリカ合衆国では、1991年～1997年の間だけでも、約695万人の移民を受け入れており、今世紀初頭から1997年までの間の合計では、約3,961万人の移民を受け入れている。

Source: U.S. Census Bureau, U.S. Dept. of Commerce, The National Data Book 1999, p.10, No.5. Immigration: 1901-1997.

第4 アメリカにおける施策の評価と日本での活用可能性

以上を踏まえて、アメリカで採られている施策の日本における活用可能性について述べる。

1 総評

アメリカ合衆国の場合、すべての対象者に関して、性別、年齢、人種、言語、文化などの違いに関わらず、個人の尊厳の尊重し、平等な取扱いを受けることが保障されるような体制を構築する努力が、関係機関における制度の整備及び職員の研修などを通じて行われている。そのため、調査項目（本部冒頭「はじめに」参照）との関係では、項目1の国籍及び項目4、5の外国人等対象者のための特別のプログラムについて、該当事項がなかった。特に、外国人等対象者のための特別のプログラムは、差別につながるなどの理由で設置されていないようである。

アメリカでは、対象者処遇の基本は、対象者の多様なニーズに対応することに置かれている。そこでは、言葉の障壁、文化摩擦など、外国人等対象者に特有の課題も、対象者のニーズの一種と位置づけられ、これらのニーズに関しては、本章第2及び第3で詳細に述べたような多様な施策が採られている。したがって、今回の調査では、調査項目3について充実した情報を入手することができた。また、外国人等対象者に特有の課題が、そのニーズとして位置づけられている結果、調査した範囲内では、処遇のガイドライン等の文書化した資料は作成されていなかった（実務運用レベルの課題としての処理）。

2 アメリカの施策で参考となる事項

(1) 外国人等対象者への統合的な対応

外国人等対象者の処遇には、言葉の障壁と文化摩擦が一体不可分のものとして現れることが多いため、真の意味での意志疎通の円滑化には、言葉のレベルでのコミュニケーションと併せて、相互に異文化に対する十分な理解が重要である。この観点から、2か国語に通じたバイリンガル、かつ、バイカルチュラル（二文化併存的）であることを処遇の現場に導入するため、地域連絡調整官制度の設置（ニューヨーク市）、エスニック系の保護観察官の採用（ニューヨーク市、メリーランド州）など各種の施策が採られている。また、就労支援などにおいても、単に職業訓練を提供するだけでなく、異文化を原因とする、日常生活技能の不足についても補う対策が採られている（ニューヨーク市）。

日本の場合、通訳の確保に苦勞している段階であるが、今後、外国人等対象者数の一層の増加への対応を考えると、言葉と文化の課題を一体として捉えた対策を考える必要があると考える。

(2) ボランティア関係の整備

アメリカは、もともと、ボランティア活動が盛んな国ではあるが、今回の調査でも通訳関係や各種サポート関係で、多くのボランティアや非営利活動団体の活躍が見られた。

日本の場合、最低限、外国人等対象者の処遇に有益なボランティアに関する最新の情報を整備し、かつ、それらのボランティアを活用できる体制を作り上げる必要があるだろう。

(3) 社会資源のネットワーク化

アメリカでは、歴史的経緯から、移民に対する各種の公的サポートが完備している。また、対象者の各種のニーズに対応できる公的機関や私的団体が提供しているサービスも少なくない。加えて、これらの社会資源を効果的に活用するための専門の担当官を公務員として採用し（連邦プログラム開発担当官）、あるいは契約職員として常勤化（メリーランド州－社会資源コーディネーター）している。

日本の場合、移民に特化したサービスは少ないものの、社会福祉、医療、教育などの分野で外国人等対象者の処遇上活用できるサービスは少なくないと思われる。ただ、現状では、それらについての情報が統一的に把握できていない上、それらの資源と保護観察所を有機的・一体的に繋ぐ役割を持つ専従の職員が配置されていない。今後、外国人等対象者の増加に伴い、これらの点についての制度整備が急務と思われる。

3 アメリカ合衆国の施策の導入を検討する際の留意点

(1) 移民に関する社会的状況の違い

アメリカ合衆国は、移民の国であり、最近7年間(1991~1997)に、約695万人、今世紀初頭から1997年までに、約3,961万人の移民を受け入れている。それゆえ、これまでほぼ単一の民族で構成されている国家であることを標榜してきた日本に比べて、移民を支援する社会的枠組みの整備の程度はかなり進んでいる。加えて、長い伝統と相当数の移民の集積により、各地域にエスニック・グループのコミュニティが形成されている。本章第2で紹介したような制度や施策も、それらを前提に構築されているものが多い。

したがって、今後、日本で同様の施策の導入を考える場合、そもそも、日本で活用できる外国人等対象者のための社会的枠組みや社会資源はどのようなものが存在するかという、最も基本的なレベルでの実態調査を踏まえた企画・立案が不可欠であろう。

ただ、日本でも、近時、定住外国人は、かなりの増加傾向にあり、1995年から1999年の5年間に約19万4,000人増加した(データは各年の年末現在。法務省「平成12年版在留外国人統計」)。その内訳を見ると、戦前からの歴史的経緯を有する韓国・朝鮮等の特別永住者は、定住外国人に占める比率が年々低下しつつあり(40.9%, 1999年)、それ以外の定住外国人が増加傾向にある。これらの者の多くは、言語の障壁及び文化摩擦を伴っている。

定住外国人の出身地を見ると、韓国・朝鮮を除くと、中国、ブラジル、フィリピン、アメリカ合衆国、ペルーの順であり、南米地域だけで、定住外国人の2割弱を占めるに至っている。これらの外国人のうち、静岡県、愛知県、大阪府などには、同国人のコミュニティが形成されている例があり、そのような地域では、行政側も、外国人に対する対応について、一定の蓄積が見られる。また、本章第2の1(3)で触れたように、これらエスニック・コミュニティの中から、バイリンガル、かつ、バイカルチュラル者を社会資源として開拓し、それらの者を活用して処遇を行っている例が見られる。

これまでの傾向から、言語の障壁及び文化摩擦を伴う定住外国人は、今後も増加し続けるものと推測されるので、その意味では、日本でも、アメリカ合衆国で採られてきたような施策を導入する素地ないし環境が徐々に整いつつあると考えることもできる。

(2) 行政機関の枠組みの違い

アメリカでは、各行政機関の枠組みを超えて、共通の目的のための機関を設置したり、恒常的な協力関係を創設している例が少なくない。本章第2で紹介した例も、そのごく一部である。日本では、行政機関は、縦割りの傾向が強く、共通の目的があっても、なかなか円滑な連携が進まないのが現状である。ただ、地方自治体と国の機関との連携は、保護観察の現場を見る限り、ある程度行われているようであり、外国人等対象者の実際の処遇には、地方自治体の協力が不可欠なことから、今後そのような方向の充実・強化も必要となろう。

第2章 連合王国

第1 調査実施機関

1 保護観察所関係

- ① インナー・ロンドン保護観察所^(*) (以下、ロンドン保護観察所という。)
(Inner London Probation Service)
- ② ミドルセックス保護観察所・外国人班^(**)
(Middlesex Probation Service, Foreign Nationals Unit)

2 刑務所関係

- ① 刑務所庁・受刑者管理部門人種関係・非キリスト教徒課
(HM Prison Service, Prisoner Administration Group, Prisoner Race Relations / Non Christian Religions Section)
- ③ バーン刑務所
(The Vern Prison)

(*) ロンドンには中心地区のインナー・ロンドン保護観察所を含め、5つの保護観察所が存在していたが、2000年4月1日に統合されて、1つの組織になった。ただし本章では、統合前のインナー・ロンドン保護観察所を、ロンドン保護観察所と略称使用する。

(**) ミドルセックス保護観察所は、2000年3月まで存在した、ロンドン市内5つの保護観察所の1つ。管轄内にヒースロー空港を抱えているため、外国人犯罪者が多く、3名の専従班が存在する。

第2 外国人等対象者の処遇に係る問題の概要

連合王国における外国人等対象者の処遇の問題は、単に言語や文化の違いによる摩擦で言い尽くすことはできない。歴史的に多くの移民を受け入れるに伴い抱えてきた、人種差別の問題と深く絡み合っている。加えて、近年周辺諸国からの難民 (refugees) や保護申請者 (asylum seekers) を多く抱えるようになっており、当局の決定が出るまでの間住民として生活する者の一部は、刑務所に収容されたり、保護観察所に処遇されたりするため、その扱いが問題になってきている(1998年は4万6,000人が保護申請をした。旧ユーゴスラビア、ソマリア、スリ・ランカ、アフガニスタン、旧ソ連、パキスタン、トルコから来た者が多い^(*)3)。ちなみに、日本の同年の難民認定申請者は133人である^(*)4))。犯罪者における人種と国籍にかかわる問題をまとめると2-2-1表のようになるかと思われる。

本章では、「白人・英国人」以外の3つのセルに含まれる問題の現状と対策、特に保護観察及び行刑を記述の対象としている。ただし、行刑を統括している刑務所庁は人種・民族・国籍ともにデータを蓄積しているが、保護観察所は国籍に関するデータを正式には取っていない。人種・民族については、差別に関するモニターを行うためという目的があるが、国籍については特に利用していないためとのことである。ただし、保護観察所では、難民や保護申請者が処遇の対象として増えてきているため、対象者の国籍や在留資格についての情報を得た方がより適切に対応できるのではないかという議論が出てきている。刑務所では、同じ民族だとしても、文化が異なったり、国と国との間で葛藤が存在したりするので、処遇上必要があつて国籍も把握しているとのことである。ちなみに、2000年9月30日現在、刑の言い渡しを受けた受刑者は53,065人(男子50,386人、女子2,679人)、うち外国籍の者は4,089名(男子3,674人、女子415人)であり、全体の7.7%であった。最も多いのはジャマイカで904人、以下アイルランド567人、オランダ179人、トルコ149人、パキスタン149人、ナイジェリア138人、インド124人となっている(刑務所庁の資料による)。

2-2-1表 犯罪者における人種と国籍にかかわる問題

	英 国 人	外 国 人
白 人	犯罪者個人の問題	犯罪者個人の問題 +英語が使えなければ言葉の問題 +文化摩擦 +外国人であることによる就職等の不利 +国外退去の不安
非 白 人	犯罪者個人の問題 +人種差別の問題 +文化摩擦	犯罪者個人の問題 +人種差別の問題 +文化摩擦 +英語が使えなければ言葉の問題 +外国人であることによる就職等の不利 +国外退去の不安

注 ロンドン保護観察所の資料による。

(*)3) ロンドン保護観察所の資料による。

(*)4) 入国管理局ホームページ (<http://www.moj.go.jp/PRESS/01202-1.html>) による。

第3 刑事司法における人種問題とその対策

連合王国における逮捕人員、保護観察開始人員及び刑務所人口に占める各人種の比率を全人口と比較したものが、2-2-2表である。

2-2-2表 連合王国の全人口、逮捕人員、保護観察開始人員及び刑務所人口に占める各人種の構成比

	計	人種				
		白人	黒人	アジア人	その他	不明
人口(10歳以上)	100.0	94.5	1.8	2.7	1.1	0.0
逮捕人員	100.0	87.0	7.3	4.0	0.8	0.9
保護観察開始人員	100.0	92.6	4.5	1.3	1.5	...
刑務所人口	100.0	81.2	12.3	3.0	3.4	0.1

注 1 人口、逮捕人員、刑務所人口については、Statistics on Race and the Criminal Justice System(2000)による、1999～2000年のデータである。

2 保護観察開始人員については、Probation Statistics-England and Wales 1998による、1998～1999年のデータである。ただし、22の地域については、この年次のデータが得られなかったため、このうち12の地域については1997～1998年、10の地域については1996～1997年のデータが含まれている。

3 保護観察開始人員については、「不明」の区分は存在しない。「その他」に「不明」も含まれている可能性がある。

4 ()内は、実数である。

1999年から2000年にかけて、連合王国における逮捕者は1,278,500人、そのうちの約7%が自由刑を受けているが、白人と比較すると、非白人特に黒人が逮捕人員及び刑務所人口に占める比率が、人口比よりかなり高いことが読み取れる。保護観察開始人員の比率も全人口に比べれば高いが、ここでは、白人に社会内処遇の選択率が高いことに注目したい。このような結果が生じている根底には、①社会的に不利な条件下に置かれていることにより、非白人が白人に比較して犯罪を起こしやすいこと、②強盗等実刑が選択されやすい犯罪において、非白人の逮捕者の比率が高いこと、③社会内処遇を選択する条件が整にくいこと、あるいは④刑事司法において、非白人が白人より不利な取扱いを受けやすいことなどが推測される。(罪名別・人種別の逮捕人員及び、罪名別・男女別・年齢層別の保護観察開始人員等については、資料1参照。)

これらの要因を是正するため、前者に対しては、犯罪に傾きやすい悪い環境(貧困や教育程度の低さなど)を改善するための一般的な行政施策や、人種問題に焦点を当てた犯罪者治療・矯正プログラムが必要であろう(つまり、非白人であることを特別に扱う処遇)。また、後者に対しては、処遇上の機会均等策や、人種問題についての教育・啓蒙活動、人種差別に関するモニタリングが必要であろう(つまり、非白人であることを特別に扱わない処遇)。

1 人種問題に対する処遇上の機会均等策、教育・啓蒙活動及びモニタリング

1976年に人種問題に関する法律(The Race Relations Act, 1976)が制定され、人種差別撤廃を政府の公式態度として明言して以来、政府としては反人種差別的な政策を推進するべく活動してきた。Criminal Justice Act 1991では刑事司法における、人種・性別等による差別を防ぐための活動を毎年報告するこ

とが定められ、2-2-2表の統計書が発刊される根拠となっている。そして、司法全体における人種問題のモニターは、刑事司法顧問委員会 (the Criminal Justice Consultative Council) の下位部会が実施している^(*5)。

(1) 保護観察関係

保護観察関係においても、内務省から、人種間の機会均等の保証を求める通達が出されている (Home Office Circular No.75/88 Probation Service Policies on Race など)。また、現在内務省は、従来独立していたイギリス内54の保護観察所を統合してNational Probation Service とする計画を立てているが、その統合方針においても、スタッフ雇用の機会均等と保護観察対象者の処遇における機会均等が目標として明文化されている。実際、この目標を推進するために、内務省では1998年12月には人種間平等実行グループ (the Race Equality Implementation Group) を設立し、訪問したロンドン保護観察所においても1999年3月に人種問題諮問グループ (the Race Issue Advisory Group) を設立した (Home Office, race equality - The Home Secretary's Employment Targets -, Home Office Directorate, 2000, Inner London Probation Service, *probation*, 32, 2000)。

ただし、人種間平等に関する最近の監査 (HM Inspectorate of Probation) によると、スタッフの雇用においては、やはり非白人の管理職が有意に少ないし、非白人の処遇に対する報告や監督の質については一貫性がなく貧困であると報告されており、内務省、ロンドン保護観察所ともにその報告を受けて対策を立てようとはしている。ロンドン保護観察所において、「人種差別主義者や人種差別に動機付けられた犯罪者の処遇方針及びガイドライン (Working with Racist & Racially Motivated Offenders - Policy & Practice Guidelines for ILPS and the New London Probation Service) ^(*6)」を取りまとめようとしているのも、人種差別問題に取り組もうとする姿勢の表れの一つかと思われる。

(2) 刑務所関係

刑務所の人種問題の施策については、刑務所庁受刑者管理部門人種関係・非キリスト教徒課 (HM Prison Service, Prisoner Administration Group, Prisoner Race Relations/ Non Christian Religions Section) が統括、刑務所庁長官直属の人種に関する諮問グループ (Advisory Group on Race) が課の活動を諮問している。各刑務所には、人種関係連絡官 (Race Relations Liaison Officer) が置かれ、連絡官や刑務所長を含む人種問題管理チーム (Race Administration Team) によって人種関連の問題に当たっている。

施策は、人種に関する行刑令 (Prison Service Order on Race Relations, Order Ref. No. 2800。2000年2月にPSI 11/2000により一部改正。) を元に刑務所長 (Governor)、管区長 (Area Manager)、刑務所庁本部によってモニターされるほか、基準監査ユニット (Standards Audit Unit) が独立した評価を行う。各施設が毎年記入する人種問題関連のチェックリストには細部に渡った80項目以上もの質問が含まれており、人種関係連絡官や人種問題管理チームの存在が周知される工夫をしているか、受刑者が均等な機会を与えられているか、人種問題に根ざした事故が起きていないか、職員や受刑者に人種問題の研修を行っているかなどが問われる。

このように、人種問題は刑務所運営の重点事項として取り組まれており、刑務所庁でも、訪問させてもらった刑務所でも、関係書類や啓発ポスターなどの多さから、確かに上層部の意識の高さのほうがえ

(*5) The Criminal Justice Consultative Council Race Sub-group, Race and the Criminal Justice System - Joining up to Promote Equality and Encourage Diversity, Home Office Communication Directorate, 2000 参照。

(*6) 2000年1月の時点では、未公開。

た。ただし、2000年7月末の時点で、刑務所庁及び刑務所職員の管理職に非白人が占める割合はまだ0.8%と非常に低いし、訪問先とは別の刑務所だが、非白人の受刑者が白人受刑者に殺される事件などが起きているのは現実で、理想が全体に浸透していくにはまだ距離があると感じた。(1998年と1999年の2年間に、刑務所内で起きた、人種差別に動機付けられた事件は受刑者から受刑者に対するもので293件、受刑者からスタッフに対するもので379件、スタッフから受刑者に対するもので218件(Statistics on Race and the Criminal Justice System(2000)による。))

2 人種問題に特化した犯罪者治療・矯正プログラム

ロンドン保護観察所では、4つの地区をまたいで「Black Self Development」という、黒人対象者を集めたワーキンググループを作っている。グループは10週間にわたり、1週間に2回、1回3時間、合計20回のセッションが行われ、自分の「過去」「犯罪」「将来」の側面について順に話合うことで進められる。「過去」とは、人種差別を受けるなどの被害体験を振り返ること、「犯罪」とはそうした過去と自分の犯罪行為とがどのように結びついたのかを洞察すること、「将来」とは過去と犯罪を起こした自分を受け止めた上で、更に今後どのように生きるかを考えること、である。グループは10年程前から「Black Empowerment」という名前で実施され、肯定的な結果を出しているが、現在新しいマニュアルとともにプログラム内容を改善中とのことである(資料2参照)。

このように特定の人種を対象とした処遇プログラムは、人種差別につながるとの考え方があって、アメリカでは実施されていないようであるが(第2編第1章アメリカ合衆国参照)、同じ問題を抱えた者どうしが問題を語り合うという点では性犯罪者に対するプログラムや怒りの感情のコントロールが必要な者のためのプログラムと大きな違いはない。もちろん問題の取扱い方にグループリーダーの高い感受性が必要であるが、現実には差別がありながら、ないものとして触れられないまま、処理されないわだかまりが続くよりは建設的といえる。

第4 外国人等対象者の抱える問題と対策

1 言葉の障壁への対策

(1) 保護観察関係

ロンドン保護観察所は、外国人関係の処遇のために、外国人対象者調整官 (Foreign Offenders' Coordinator) を置いている。英語を話せない対象者のためには、約250人50か国語の通訳人リストを作成している(2000年1月現在)。1999年から2000年にかけて、ロンドン保護観察所の通訳の予算は9万ポンドであった。報酬のレートは、治安判事裁判所及びスコットランドヤードのランゲージ・サービス・ユニットと横並びに標準化しようとしている。なお、ロンドン保護観察所が行った調査(Interpreters in ILPS - A Brief Analysis of the Monitoring Forms Received in 1999)によると、通訳を利用したときの資源は通訳人リストだけでなく、裁判所の通訳その他も約半数ある(有効回答中)。同調査によれば、最も通訳を利用した場面は判決前調査^(*)の段階で約半数を占め、その後の面接が約30パーセントである。最も多く使用した言語はポルトガル語であり、以下ヴィエトナム語、フランス語、スペイン語と続く。ミドルセックス保護観察所の外国人班 (Foreign Nationals Unit。以下FNUという。) においては、ヒースロー空港で主に麻薬密輸により逮捕された者が対象者の大部分であることから、最頻使用言語はロンドン保護観察所とは異なるが、通訳利用のシステムは同様であった(資料3 参照)。

イギリスの全保護観察所が全英組織として統合されることは上述したが、刑事司法システムで利用される通訳人はすべて、2001年末までに全国的なサービスの通訳人として登録されることになる(the National Register of Public Service Interpreters)。これは、専門領域や文化の知識に富み、偏見がなく、秘密を守ることでできる有能な通訳を供給することが目的である。

通訳以外の言葉の障壁への対策としては、E S O L (English course to Speakers of Other Languages) を対象者に紹介するという方法もある。即効性はないが、英語の習得を支援することは長期的には非常に有効であろう。

ロンドン保護観察所内では、バイリンガルなスタッフをどう利用するかについては論議が分かれているらしい。つまり、そうしたスタッフに特別報酬を与えるべきかどうかということである。また現在、外国人あるいはマイノリティの処遇のためにバイリンガルなスタッフを雇用するということはしていない。

(2) 刑務所関係

今回訪問したバーン刑務所は、収容定員577名、通常550程度の収容数であるが、そのうち半数以上の約330人が外国人であり、国籍数57,8か国という外国人受刑者の半数は英語を話せないという。Cat Cと呼ばれる、開放処遇に近い収容形態の刑務所であるためか、受刑者間、スタッフ-受刑者間の会話はフランクに行われており、日常生活上必要な通訳はバイリンガルの受刑者を利用することが多いという。職員も、需要の多いスペイン語などを学習するよう推奨されてはいるようだが、実際外国語を話すスタッフは少ない。訪問時日本人の受刑者は1人のみであったが、このように刑務所内である言語を話せる者がいない場合の対応が難しいようである。

受刑生活における基礎的な知識については、刑務所庁によって冊子としてまとめられ、21か国語に

(*) 7) 連合王国の保護観察所は、被告人が罪を認めているか、有罪とみなされる場合、裁判所からの要請により、判決前調査報告書 (pre-sentence reports, PSRs) を作成する。報告書は被告人との面接に基づいて作成されるものであり、本件犯罪をとりまく環境についての情報を判事に提供する。

翻訳されている。受刑者は収容期間中それを携帯することができる。

通訳に受刑者を利用する場合に危惧されるのは、「正しく通訳されるかどうか」という点である。バーン刑務所では、司法関係の説明や医療受診の場合など、重要な内容に関しては「Language Line」という民間の通訳会社を利用する。「Language Line」は、24時間年中無休で、100以上の言語に対応でき、電話を通じてやり取りを行う。1時間30ポンド程度という費用は、全額公費負担である。刑務所庁における面談でも「Language Line」は紹介された。イギリス全体で利用しているようである(資料4 参照)。

受診場面における簡単な問診においては、言語能力の不足を補うため、絵本を利用し、患部の特定や症状の理解に役立てている。

バーン刑務所では、英語を話せない者に対する英語教育が、平日の昼間に作業の代替として実施されている。釈放後も連合王国内で生活する予定の者あるいは母国に戻ったとしても英語を使用できることが就職上有利だと考える者により、積極的に受講されている。ただ、能力別のクラス編成になっているようであるが、スペイン語を話せる補助の教師がクラス内にいるものの、受講者の全母国語に対応することはできない。ここでも、受刑者どうし教え合うことで補っている。

2 文化の差異・摩擦への対策

(1) 保護観察関係

ロンドン保護観察所では最近、エスニック文化を知るためのセッション(cultural awareness session)を行うようになっており、現在のところバングラデシュとヴィエトナムの文化について、それぞれ半日コースで学んだり討議したりする機会を設けている(資料5 参照)。セッションの目的は、特定の文化についての知識を増やすこと、文化が犯罪、家族、ETEとどのように関連しているかについての理解を高めること、及びスタッフが文化的境界を越えて効果的に働く力を高めるための課題を同定すること、である。

また、エスニックコミュニティとの連携も重要視しており、例えば、グリーンウィッチ地区では、ヴィエトナム人のコミュニティと連携をとって通訳や翻訳などの一部を行っている。

(2) 刑務所関係

バーン刑務所は、非常に多くの文化を背景にした者が収容されているにもかかわらず、スタッフによれば、文化摩擦は生じていない、とのことであった。スタッフは受刑者から文化について常に「学ぶ」姿勢を持っているし、受刑者どうしも互いの文化を尊重するように言われているからとのことである。それでうまくいっているのは、もちろんリベラルなスタッフの姿勢によるところが大きいと思われるが、元々バーン刑務所に送られてくる受刑者の質が良いということに加え、バーン刑務所の待遇が他の刑務所に比べて良いということを受刑者皆が知っており、バーンにとどまるために他の文化を尊重する態度を示すという背景もあると思われる(そうでなければ移送の対象となる。)

食事は受刑者の大きな関心事であるが、バーン刑務所では、エスニック料理がメニューに取り入れられ、ある程度の選択ができる。また、「カリビアン・フェア」「イタリアン・フェア」のように、特定のエスニック料理をクローズアップすることも計画しているとのことである。

宗教も、メジャーなものについては礼拝その他宗教行事に対応している。ただし、マイナーなカルト宗教のようなものについては難しいらしい。

3 就職援助

ロンドン保護観察所においても、ミドルセックス保護観察所の外国人対象者ユニットにおいても、就

労援助は直接保護観察所が行うよりも、民間の援助団体などに委託する方が多いようである。ロンドンではLondon Offender Employment Network, FNUではJay Training といった団体の名前が挙げられた。難民や保護申請者の約75パーセントが無職であり、彼らの雇用に力を入れていきたい、とロンドン保護観察所の担当者は述べていた。

4 国外退去の可能性のある対象者への対応

前述したように、イギリスでは難民や保護申請者が日本に比べて非常に多い。彼らは、申請が認められる場合もあるが、退去を言い渡される場合もあり、退去の決定が下される可能性がある場合は、拘留所や刑務所に収容される。また、犯罪を起こした外国人は、犯行前にイギリス内に住んでいたとしても強制退去を命じられる場合がある。このように国外退去の可能性のある外国人対象者は、RASFNNO (Refugee, Asylum Seekers and Foreign National Offenders) と呼ばれ、関心を向けるべき対象者としてクローズアップされるようになってきている。

刑務所では、処遇上の不平等が起こらないようにはしているが、RASFNNOであるということによる特別な処遇プログラムは存在しない。

保護観察所は、RASFNNOが、司法手続の中においてその他の対象者より不利な扱いを受けないように、特に司法制度の説明や判決前調査の実施に力を入れているようである(資料6, 7参照)。ミドルセックス保護観察所のFNUは10年前からそうした活動を専門に行ってきたユニットであり、入国管理局、刑務所、領事館との連携を密に行っている。身柄を拘束されたRASFNNOに対しては拘留相談所 (Detention Advisory Service) という非政府組織が、違法行為をしていないRASFNNOに対しては入出国相談所 (Immigration Advisory Service) という組織が援助を行っているが、保護観察所はこの2つを含む多くのRASFNNOへの援助団体とも連携している。現在、保護観察所では全国統合に向けて「RASFNNOデータベース」なるものの作成を計画中であり、RASFNNOに関係する情報を全国の保護観察所からアクセスできるようにするとのことである。

FNUなど、専門のユニットで活動する保護観察官はともかく、一般の保護観察官は出入国管理の制度にあまりなじみはない。また、領事の側も保護観察制度について良く知らないことがある。そのため、FNUでは、出入国管理制度、二国間協定や受刑者移送条約を結んでいる国のリストなどについて保護観察官に研修を行ったり、保護観察制度について領事に研修を行ったりしている(資料8~10参照)。

現在、保護観察所においては対象者の国籍、在留資格、使用言語をデータ収集していないため、RASFNNOの正確な数や置かれている状況が把握されておらず、内部の報告書などではデータ収集の必要性が訴えられている。在留資格などを問う質問に対する反発などがあったというが、これまで人種を質問してきたように、その目的を明確にして納得してもらうことができれば聞くことはできるのではないかと思う。

第5 連合王国における施策のまとめと日本での活用可能性

ここでは、連合王国における保護観察及び行刑の外国人等犯罪者への処遇についてみてきた。保護観察においても行刑においても、人種問題対策に特化した組織が存在し、活動している。裏返せば、それだけ人口の少なからぬ比率を非白人が占めるようになったことと、非白人が置かれる状況が依然として不利に傾きやすいという問題があることを表していると考えられる。それに比して外国人対象者という区切りでの特別な処遇はあまり目立たなかったが、通訳者リストの活用や、保護観察官に対するエスニック文化の学習機会の設定などに、言葉や文化の差異による処遇面での障壁を取り除こうとする努力が行われている。また、最近では、入国管理局が決定を出すまでの間、難民や保護申請者が国内に滞在するにあたって、彼らも処遇の対象となることが増えてきており、いわゆる「犯罪者」の処遇と異なるケースワークや、出入国管理に関する技術的な知識が要求されることが多くなっている。

翻って、日本の外国人等対象者の問題について考えると、その存在の有無は別として、差別が表立った問題として取り上げられることはほとんどない。言語能力の不足や文化の違いによる、コミュニケーションの不具合を主とした、日本人社会への順応の問題に集約されると思われる。将来的に更に外国人居住者が増加した場合に、人種差別が問題化するのか、それとも日本においては彼らの順応を図るだけで足りるのかは、今後の推移を見守る必要がある。また、難民や保護申請者の問題は日本と状況がかなり異なる。

我が国の処遇の参考になると思われたのは、公用語（日本なら日本語）を話せない対象者に、適切な語学コースを紹介することや、保護観察官に対する異文化学習の研修などである。後者については、もし、地域に居住する異文化出身者を講師に含めることなどができれば、コミュニティとのつながりを強化することも期待できる。また、連合王国は、就労支援については、主としてその目的で専門に活動する民間団体に照会する方法を取ることで、職員の負担の軽減を図っている。日本においては、まだこうした民間の活動が十分であるとはいえないが、保護観察官の人員が限られている状況が大きく変わらない場合、将来的には、保護司制度に加えて、対象者のニーズに応じて、外部団体に照会するセンター機能を有していくことが、望ましいのではないかと考える。

第3章 総括及び提言

第1節 アメリカーその状況及び施策と日本における活用の可能性

第1 外国人等対象者への統合的な対応

外国人等対象者(定義については、第2部冒頭「はじめに」の中の調査項目の項参照。)の処遇には、言葉の障壁と文化摩擦が一体不可分のものとして現れることが多いため、真の意味での意志疎通の円滑化には、言葉のレベルでのコミュニケーションと併せて、相互に異文化に対する十分な理解を促進することが重要である。この観点から、2か国語に通じ(バイリンガル)、かつ、バイカルチュラル(二文化併存的[bicultural])な人材を処遇の現場に導入するため、地域連絡調整官(Community Liaison Officer)制度の設置(ニューヨーク市)、エスニック系の保護観察官の採用(ニューヨーク市、メリーランド州)など各種の施策が採られている。また、就労支援などにおいても、単に職業訓練を提供するだけでなく、異文化を原因とする、日常生活技能の不足についても補う対策が採られている(ノバ・アンコラ・プログラム [Nova Ancora Program], ニューヨーク市)。

日本の場合、通訳の確保に苦勞している段階であるが、今後、外国人等対象者数の一層の増加への対応を考えると、言葉と文化の課題を一体として捉えた対策を考える必要があると考える。今回の国内の調査で、外国人対象者の処遇に際して、「ヴィエトナム人コミュニティー」の支援者グループに協力を依頼している例が見られたが、この例は、日本に帰化したヴィエトナム人を核に、各種のサポート等を提供したり、生活実態の把握のための情報を継続的に入手しようとするものである。これは、前記のバイリンガル、かつ、バイカルチュラル(二文化併存的)な点に着目した人材の活用を目指す試みの一種であると考えられる。今後、我が国でも、外国人対象者が比較的多く係属する保護観察所を中心に、言葉と文化の双方に通じ、かつ、保護観察制度の知識を併せ持った人材を、外国人対象者と保護観察所との架け橋となる存在として定着させ、一つの制度として円滑な運用を図れば、より充実した処遇を実現することも期待できると思われる。

第2 ボランティア関係の整備

アメリカは、もともと、ボランティア活動が盛んな国ではあるが、今回の調査でも通訳関係や各種サポート関係で、多くのボランティアや非営利活動団体の活躍が見られた。

日本の場合、最低限、外国人等対象者の処遇に有益なボランティアに関する最新の情報を整備し、かつ、それらのボランティアを活用できる体制を作り上げる必要があると考えられる。今回の国内の調査でも、庁として外部の機関、社会資源との連携を図ったりするなどの積極的な事例が見られたが、今後、日本においても、この種の社会資源ネットワーク整備の一層の充実が求められると思われる。

第3 社会資源のネットワーク化

アメリカでは、歴史的経緯から、移民に対する各種の公的サポートが完備している。また、対象者の各種のニーズに対応できる公的機関や私的団体が提供しているサービスも少なくない。加えて、これらの社会資源を効果的に活用するための専門の担当官を公務員として採用し(連邦—プログラム開発担当官 [Program Development Coordinator]),あるいは契約職員として常勤化(メリーランド州—社会資源コーディネーター [Community Resource Coordinator])している。

日本の場合、移民に特化したサービスは少ないものの、公的機関、民間組織、ボランティア団体等が提供している社会福祉、医療、教育などの分野のサービスで、外国人等対象者の処遇上活用できる例は多いと思われる。ただ、現状では、それらについての情報が統一的に把握できていない上、それらの資源と保護観察所を有機的・一体的に繋ぐ役割を持つ専従の職員が配置されていない。しかし、これらの支援体制の不足が、ひいては外国人対象者の保護観察における補導援護体制の不備を招き、結果的に対象者のニーズに対応できず、再犯を効果的に防止できないといった事態も考えられる。

そこで、日本の場合、まず、外国人対象者の処遇に当たる保護観察官が、このような関係での社会資源のネットワーク化を意識した処遇を考える必要があるだろう。具体的には、関係社会資源との連携を日常的に図りつつ、その中から、外国人対象者の処遇経験が多く、外国語の堪能な保護司や外国人支援ボランティア団体での活動経験が豊富で、外国人対象者の処遇にも協力したことのある者などを、外国人対象者処遇のための社会資源ネットワークのキー・パーソンとして育成してゆくのも一つの方法である。そして、長期的には、これらの者の中から、社会資源ネットワークを活用した外国人対象者の支援に専従で対応できる者を選べるような体制の整備が急務と思われる。

第2節 連合王国—その状況及び施策と日本における活用の可能性

第1 概説

連合王国の場合、保護観察においても行刑においても、人種問題対策に特化した組織が存在し、活動しており、非白人が置かれる状況が依然として不利に傾きやすいという問題があることを表していると考えられる。それとは別に、外国人対象者に対する特別な処遇はあまり目立たなかったが、公用語を話せない外国人対象者に適切な語学コースを紹介したり、通訳者リストを活用したり、保護観察官に対するエスニック文化の学習機会の設定する等、言葉や文化の差異による処遇面での障壁を取り除こうとする努力が見られる。

連合王国独特の事情として、最近では、入国管理局が決定を出すまでの間、難民や保護申請者が国内に滞在するにあたって、彼らもプロベーション・サービスの処遇の対象となることが増えてきており、いわゆる「犯罪者」の処遇とは異なるケースワークや出入国管理に関する技術的な知識が要求されることも多くなっているが、この点は、日本と状況がかなり異なる。

第2 日本での活用可能な施策

1 保護観察官に対する異文化学習の研修

インナー・ロンドン保護観察所では、最近、保護観察官向けに、エスニック文化を知るための講座 (cultural awareness session) を行うようになっており、現在のところバングラディッシュとヴィエトナムの文化について、それぞれ半日コースで学んだり討議したりする機会が設けられている。セッションの目的は、特定の文化についての知識を増やすこと、文化が犯罪、家族及びETE (Education, Training and Employment, 教育, 研修及び雇傭の略称) とどのように関連しているかについての理解を高めること、及びスタッフが異文化相互の境界を越えて効果的に働く力を高めるための課題を同定すること、である。

2 多様な言語及び異文化への対応策

インナー・ロンドン保護観察所では、外国人関係の処遇のために、外国人対象者調整官 (Foreign Offenders' Coordinator) を置いている。また、英語を話せない対象者のために、約250人50か国語の通訳人リストを作成し、対応している。

日本の場合、前記アメリカの例で述べたような言葉と文化の双方に通じた担当官を設置するのも一法であるが、さらに一步進めて、保護観察官自身でこのような機能を併せ持った者を採用するのも効果的と考えられる。また、通訳人リストは日本にも存在するが、対応できる言語の種類が少ないこと、リストの更新頻度が低いことなどのため、実用性に問題のある例も散見される。したがって、今後、アメリカの例(資料6)のように、どのようなニーズに対応できるかまで明らかにした通訳人リストの整備が、実効性のある保護観察処遇を行う上で不可欠と考えられる。

3 就労支援

また、連合王国では、就労支援については、主としてその目的で専門に活動する民間団体に委託する方法を取ることで、職員の負担の軽減を図っている(インナー・ロンドン保護観察所では、London Offender Employment Network, ミドルセックス保護観察所・外国人班 [Foreign Nationals Unit, FNU] では、Jay Trainingなど)。日本においては、まだこうした民間の活動が十分であるとはいえないが、保護観察官の人員が限られている状況が大きく変わらない場合、将来的には、保護司制度に加えて、対象者のニーズに応じて、保護観察所が外部団体に就労支援を委託するセンター機能を有していくことも、望ましいのではないかと考えられる。

資 料

第1 アメリカ合衆国における実地調査関係資料

- 資料1 ヒスパニック系児童及び家族のための委員会
- 資料2 統合的就労等支援プログラムーノバ・アンコラ
- 資料3 ニューヨーク州における外国人プロベーションの状況
- 資料4 メリーランド州における外国人プロベーションの状況
- 資料5 通訳サービス会社 LEE-LINK
- 資料6 通訳ボランティアランゲジ・バンク・エージェンシー

資料1 ヒスパニック系児童及び家族のための委員会

The Committee for Hispanic Children and Families, Inc. is funded by the New York State Department of Social Services, New York Foundation and the Greater New York Fund.

Some Corporate contributors include; Brooklyn Union Gas Company, New York Telephone, Chemical Bank and Manufacturers Hanover Trust Company.

Chairperson, Jose Nazario

Executive Director, Elba Montalvo

Board Members

Gudelia Betancourt, M.S.W.

Awilda Castro, M.S.W.

Felix Colon

Dr. Rosa Gil, Ph.D.

Miguelina Maldonado, M.S.W.

Jose Rivera, M.S.W.

Julia Rivera

Rosa Rosado, M.S.W.

Ruben Diaz Seise, Esq.

Miguel Salazar

Irma Serrano, M.S.W.

Donald Velasquez, M.S.W.

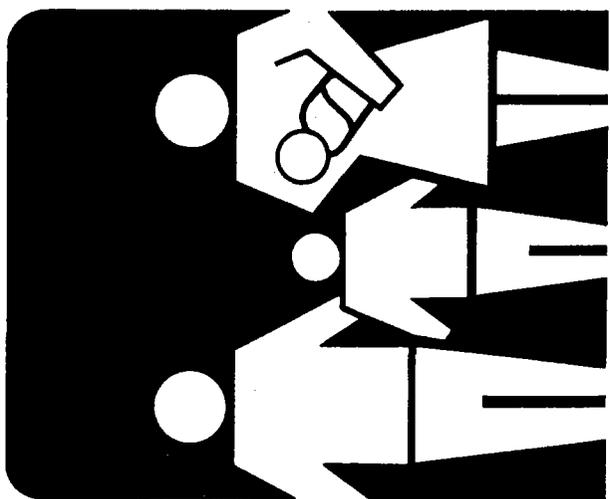
Advisory

Theodore Zeichner, Esq.

Jimmy Figueroa

Special thanks to Avon Products, Inc. for their assistance in producing this brochure.

Design: Artisan Graphic Studio



**Committee
for
Hispanic Children
and Families, Inc.**

(718) 596-1800

Committee for
Hispanic Children and Families, Inc.
50 Court Street
Suite 1002
Brooklyn, New York 11201



CHCF is convinced that the Hispanic family is the logical setting for providing nurture, shelter, and education for Hispanic children.

Established in 1982, the Committee for Hispanic Children and Families (CHCF) is a nonprofit citywide organization of Hispanic adoptive parents, human service professionals, and others interested in the protection of Hispanic children and families—biological, foster and adoptive.

Growing from the work of the New York Hispanic Task Force on Child Abuse and Neglect, a child welfare advocacy group, CHCF was formed because of the need to go beyond advocacy to upgrade the foster care/child welfare system in New York. For example:

- In 1984, according to the New York State Central Register, 31% of the reported cases of child abuse in New York City involved Hispanics. The percentage is alarming. CHCF is concerned that a large number of reported neglect cases that lead to the removal of children from their biological parents are improperly assessed due to differences in language, culture, and class values between the child care professionals and Hispanic families involved.

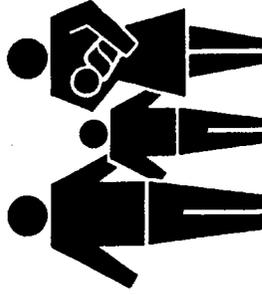
CHCF is convinced that the Hispanic family is the logical setting for providing nurture, shelter, and education for Hispanic children. Therefore, if Hispanic families are to remain intact, and child welfare agencies are to succeed at finding Hispanic homes for Hispanic children, then professionals in the field must become sensitive to the Hispanic way of life.

To help in this task, and encourage the Hispanic community to become more involved in deciding and providing for the future of its children, CHCF has developed and implemented the following program of training and service. We now offer:

- An advanced curriculum in adoption and Permanency Planning developed and packaged by us and approved by the New York State Department of Social Services.
- Training Seminars for child welfare professionals in preventive services, foster care and adoption, to sensitize them to key cultural issues that will improve their services to Hispanic families.

- A Public Awareness Campaign to inform Hispanics about overall child welfare systems particularly as they relate to the Hispanic child and family.

- A Child Welfare Information Bureau staffed by a bilingual child welfare information specialist whose main responsibilities will be: to make appropriate referrals for families and follow up on their progress; to provide information and guidance to families who call the CHCF; and to advocate on



behalf of families who are caught up or snagged in the child welfare system. The child welfare information specialist will also play an important role in our CBO (Community Based Organization) Outreach and seminars program.

資料2 統合的就労等支援プログラム—ノバ・アンコラ

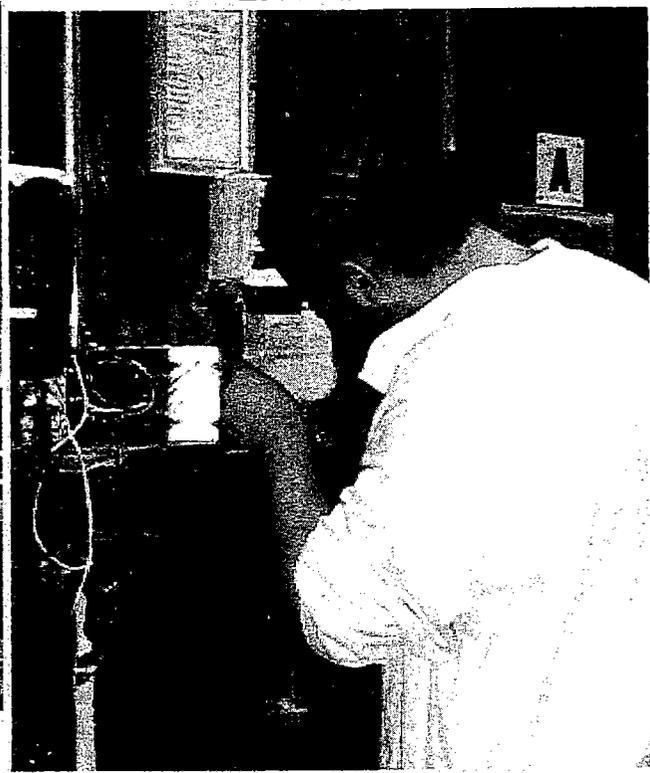




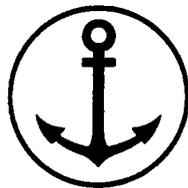
NOVA ANCORA

New York City
DEPARTMENT
OF
PROBATION

- EMPLOYMENT, VOCATIONAL TRAINING,
LIFE SKILLS PREPARATION
- PROBATIONERS SCREENED FOR REFERRALS
- FEDERAL TAX CREDIT FOR EMPLOYERS
- 1,000 OFFENDERS SERVED IN FY 1997
- NETWORK WITH WILDCAT AND OTHER
NON-PROFIT ORGANIZATIONS
- APPRENTICE SLOTS WITH LABOR UNIONS
- DRAMATIC REDUCTION IN RECIDIVISM



The
Nova Ancora
Vocational Training and Employment Program



An innovative and effective jobs program within
the New York City Department of Probation

a special report
prepared by
Louis M. Gelormino and Eden J. Weiss

The Vision and the Mission

The vision of Nova Ancora is that probationers who are employed, or who are successfully participating in vocational training, life skills preparation or continuing education programs are rearrested at a far lower rate than probationers who are not so productively occupied, thus preventing incarceration.

The mission of Nova Ancora is that by facilitating the employment of a probationer, or his successful participation in a vocational training, educational or life skills program, Nova Ancora helps to protect public safety by significantly assisting in the rehabilitation of the client. The probationer's level of self esteem is raised, and he becomes a self sufficient tax paying contributor to the community.

The Nova Ancora Staff

Nova Ancora ("New Anchor" in Latin) which has been spearheaded by Deputy Commissioner Louis M. Gelormino since 1994 is among the Department of Probation's most successful initiatives launched to date, to provide meaningful alternatives to probationers. It was founded on the belief that many probationers were not only employable, but if employed, would recidivate at a far lower rate than unemployed probationers. The ultimate goal of the program is that an employed, crime free probationer will have a heightened level of self esteem and self sufficiency, two key factors which will help him to become a productive member of his community and society.

It is no secret that the success of Nova Ancora is in large part due to the commitment, dedication and professionalism of its staff who have not only worked hard to ensure the success of the program, but have each played important roles in its evolution. From photo identification generation, computerized Data Base and Resources Directory, placement referral process, and important resources enlistment, this programs team of diverse and talented individuals have demonstrated themselves to be the real keys to its continued developing success. Commissioner Gelormino is joined at the helm of this program by Mr. Eden J. Weiss, Assistant Commissioner for Vocational Training and Job Development who manages its daily operation. The Nova Ancora team consists of Mr. William Houser, Community Coordinator, Ms. Carletta Thompson, Program Liaison, and Ms. Yvette Rivera, Secretary and Support Staff.

Additionally, Nova Ancora has utilized the services of the Department's Volunteers Program, which, under the direction of Ms. Reva Moten, has provided assistance in a variety of supportive roles for the program.

The Savings for the Government and Taxpayers

By employing Nova Ancora probationers and effectively reducing recidivism, there is significant savings for both the government and taxpayers. The cost for incarcerating an inmate for one year in the state, is approximately \$27,000 per year, in the city the cost is approximately \$35,000 per year. The cost of placing a convicted offender on probation is less than one thousand dollars per year. In addition, many probationers

serviced by Nova Ancora become employed and are removed from the public assistance "welfare rolls", as they become financially independent and self sufficient taxpaying citizens.

The Teamwork Approach

Nova Ancora utilizes an effective, collaborative teamwork approach in servicing both probationers and our resource providers (i.e. employers or programs). The team is comprised of four major players: the probationer, the supervision or referring Probation Officer, the Nova Ancora representative and the employer or program to which the probationer is referred. By effectively sharing information and communicating cooperatively we try to ensure that the placements we make are successful.

The Referral Process and Procedure

Upon interviewing a prospective Nova Ancora probationer, the supervision probation officer will query the probationer with regard to his education and employment qualifications, background and interests. The supervision probation officer will then peruse his "Nova Ancora folder" containing various resources, which have been distributed to him periodically in the form of memos, articulating the highlights of different employers, or programs' requirements and benefits.

The probation officer will describe the employment, vocational training, life skills training or educational programs to the motivated and interested probationer. After making a preliminary match, the referring probation officer will drug test the probationer (we do not accept any probationer who tests positive for drugs). In addition, the supervision probation officer will check to see if the probationer has the required documents (e.g. birth certificate, social security card and valid photo identification card). No referral can be made until the probationer produces the required documentation.

Nova Ancora has implemented a photo I.D. generating service, which has been initiated and implemented by Mr. William Houser. The photo identification card service that Nova Ancora provides is of significance since many of our probationers do not possess the required documents to obtain the N.Y.S. Department of Motor Vehicles non-driver's license photo I.D. card. Many of the resources to which our probationers are referred require a photo I.D. card.

After interviewing the probationer, receiving a negative drug test, checking the probationer's documentation, making a preliminary match between the probationer and the prospective resource, the probation officer then telephones a Nova Ancora representative. The Nova Ancora representative assists the probation officer in making the actual resource selection which appears to be most appropriate for the individual probationer. The Nova Ancora representative collects specific identifying data and case related information from the referring probation officer and more fully describes the specific advantages of the resource selected. The referring probation officer completes the Nova Ancora "Letter of Introduction" which will introduce the probationer to the employer or program to which the probationer is referred. The second copy of the Letter of Introduction is mailed to Nova Ancora with a copy of the most recent negative drug test. The third copy is filed in the case record.

The probation officer is given travel directions for the probationer and is informed that he (the probation officer) will be contacted promptly with the results of the appointment that was just scheduled. In addition, periodic adjustment reports are provided to the supervision probation officer. Probation officers are provided with the telephone numbers and persons to contact at the various service providers, should they be interested in making contact directly.

The Benefits to Employers

Participating employers are informed of the Federal Work Opportunity Tax Credit (W.O.T.C.), administered through the state, which provides employers with a maximum tax credit of \$2,400 per year, per new hire, for qualified employees. Prospective employees (probationers) can qualify in one of eight categories (e.g. a convicted felony offender who is released from jail within a year and comes from a low income family). Assistant Commissioner Weiss completes the "W.O.T.C. forms", for the employer (and new hire), prior to forwarding them to the N.Y.S. Department of Labor in order to make the process less cumbersome for employers who hire our probationers.

In addition, through the Federal Bonding Program, probationers, formerly classified as "at risk and not bondable," can be bonded for six months for up to \$5,000 per bond, per employee. This essentially guarantees an employee's honesty for a participating employer. In 1998 the N.Y.S. Department of Labor has recommended the purchase of Fidelity Bonds from the McLaughlin Company by New York State. If purchased by the State, the Fidelity Bonds are free (for the above amount and duration) for employers. After the six month free initial period, the employer may purchase the bond directly from the McLaughlin Company.

The Nova Ancora Program offers the employer a pre-screened, drug free motivated prospective employee. Very few employers can or will drug test new hires. The probationer, prior to referral, has a proven track record of compliance with the conditions of probation and his probation officer (i.e. there are no pending cases, no violation of probation reports pending before the court and the probationer reports to his probation officer as directed). Nova Ancora offers the employer not only a pre-referral screening service, but also a support system in order to deal effectively with any problem that may arise.

Employers that have given probationers a job opportunity have been lauded and recognized during a citywide Nova Ancora Recognition and Award Ceremony, which was held at City Hall, in October 1995. Employers were presented plaques of acknowledgement by the N.Y.C. Department of Probation. Former First Deputy Mayor Peter Powers, was the keynote speaker.

Perhaps most significantly, employers give themselves the self-satisfaction of knowing that they contributed mightily in helping a probationer turn his life around in a positive direction. Employment is, in many instances, the most important aspect of a probationer's rehabilitation.

The Network of Resources

A wide variety of resources have been assembled in order to provide probationers opportunities with employers, not-for-profit corporations, labor unions, vocational training schools and cooperating New York City and New York State departments and agencies.

The Employers

The cooperation of a core group of civic minded private employers was enlisted. Some of the participating employers who have hired probationers are: Abney Manufacturers, V.G.I. Security, Messengers Unlimited, United Reprographic Services, Inc., Vento Medical Services, Rex Duval Caterers, The Village Car Service, Inc., The Ranch 1 Corporation, Inter-State Dry Wall Corp., MSI Computers and Systems Inc., Star Recycling and America Works of N.Y.C. Additionally, the Lehigh Safety Shoe Co. donated free pairs of steel toe safety shoes to a group of probationers, who, as students of the N.Y.C. Vocational Training Center, helped to renovate the Bowery Mission for the Homeless.

The Not-For-Profit Corporations

One of the foundations of Nova Ancora are the relationships that we have developed with a group of not-for-profit corporations that provide unique subsidized employment and job placement services for our probationers who need work expeditiously.

Through a contractual agreement with the Wildcat Service Corporation, via the N.Y.S. Division of Parole, Nova Ancora is able to refer 300 probationers per year for subsidized employment in the areas of clerical, maintenance and construction work. Each probationer is hired for 6 months. After the probationer completes 4 months of subsidized employment, he receives life-skills training and begins to meet with a job developer to assist the probationer in his job search for unsubsidized employment.

The Center for Employment Opportunities (C.E.O.) is contracted to accept 150 probationers per year in their program, which services probationers with non-violent convictions. C.E.O. is divided into two sections. Initially, the probationer, through the Vocational Development Program (V.D.P.), receives one week of life skills training. In order to begin working and earning subsidized employment wages, the probationer must complete the entire week of life skills training. After completing the life skills training week, the probationer begins meeting with a job developer to start the job search, one day per week. The other four days per week, the probationer begins working in the Neighborhood Work Project (N.W.P.), the subsidized employment program which places people in either construction, maintenance, light repair work or painting.

Nova Ancora has established a close working relationship with the South Forty Corporation, although we do not, as yet, have a contractual commitment with them. "South Forty," after providing a one or two day pre-employment workshop, attempts to place probationers directly into unsubsidized employment. As a result of this collaborative working partnership, Mr. Eden J. Weiss, Assistant Commissioner for Vocational Training and Job Development, who directs the daily operations of Nova Ancora, attended a National Institute of Corrections Seminar for Offender Employment Specialists with Ms.

Pearl Meeks, a Program Director at South Forty, in order to further this collaborative partnership and work together on an "action plan" to solve a mutually identified problem.

One unique not-for-profit corporation devoted to pre-employment/life skills training with which we are affiliated is the East Harlem Employment Service/S.T.R.I.V.E. which provides free, three week, intensive pre-employment workshops. S.T.R.I.V.E. graduates are then serviced by a job developer to seek unsubsidized employment. S.T.R.I.V.E. also makes a lifetime commitment of career counseling to it's graduates. 80% of S.T.R.I.V.E. graduates are still employed after two years.

Another pre-employment program focusing on "workplace literacy" is the Hope Program which has three, four month semesters per year, including a workplace internship. This successful program, located in Brooklyn Heights, provides an all encompassing pre-employment/life skills training program exclusively devoted to teaching clients everything they need to know about obtaining and being successful in the workplace.

Vocational Training Programs and Schools

Nova Ancora has made cooperative linkages with a number of vocational training and continuing education schools such as the New York City Vocational Training Center, the Plaza Business Institute, the Apex Technical School, the S.U.N.Y.- Educational Opportunity Centers, La Guardia College-Project Enable, the N.Y.C. Department of Employment - T.A.P. Centers, Compu-Center at the Central Queens YMCA, the National Vocational School (truck driver training) and the Municipal Training Center.

Almost all of the vocational training programs with which Nova Ancora is affiliated provide job placement assistance for it's graduates. The job placement assistance is ongoing and program or school graduates may return for assistance subsequent to the initial job interview or placement. The job search, placement and follow-up are viewed as a continuum or process, rather a finite entity.

The Labor Unions

The cooperation of various unions has been sought and received by Nova Ancora. Of particular interest to Nova Ancora was the availability of entry level positions into the various unions' apprenticeship programs. Nova Ancora took groups of probationers to orientation sessions held at both the United Brotherhood of Carpenters and Joiners of America and the Brotherhood of Electrical Workers. Subsequent to these orientation sessions probationers were accepted into both unions' apprenticeship programs. The Steamfitters' Industry Training Center's Director of Education was extremely cooperative in facilitating the entry process into their apprenticeship program. Currently a small group of probationers are on "a waiting list" and are expected to enter their apprenticeship program within the year. Local 445 of the Laborers International Union of North America has provided entry level positions with two of the recycling companies who employ their unions' members.

Memos and Presentations to Probation Officers (**"marketing of the program" to our customers**)

After developing new resources, memos are written and distributed to referring supervision probation officers describing the individual characteristics of the resources (e.g. requirements of an employer, acceptance criteria and advantages of a specific program) so that the probation officers can describe them and encourage probationer interest and participation.

Semi-annual presentations are made to the referring supervision probation officers throughout the department in order to: describe newly developed resources, generate more referrals, discuss recent Nova Ancora programmatic successes and developments, distribute "Letters of Recognition" to the top referring probation officer's in the branches, answer questions and solicit suggestions and comments.

The Recognition and Awards Ceremony

In October 1995, a Nova Ancora Recognition and Awards Ceremony was held in order to honor and recognize all of the service providers (i.e. employers, labor unions, not-for-profit corporations, vocational training, continuing education programs and contributing city and state departments and agencies), the probationers who achieved success in the program, and the supervision probation officers who referred the probationers to Nova Ancora. The service providers received plaques, and the probationers received framed Certificates of Recognition. An equally significant component of the celebration was the presentation of Lifetime Achievement awards to Mary and Zack Sansone, the founders of the Congress of Italian American Organizations (C.I.A.O.) and Chief Charles Joshua, the Founder and C.E.O. of the Central Brooklyn Coordinating Council. Following the Recognition and Awards Ceremony a sumptuous brunch was enjoyed by all attendees.

The Nova Ancora / Wildcat Service Corporation Outcome Evaluation

In 1996 a simple outcome evaluation was completed in conjunction with the Wildcat Service Corporation. The purpose of the study was to see if sustained employment was directly related to reduced rearrest rates. A sample of 110 probationers who were hired by "Wildcat", as referred by Nova Ancora, were matched with a control group. Probationers were matched by similar risk levels of recidivism and length of time on probation. Significantly, probationers who remained successfully employed for at least three months were rearrested 50% less than the matched control group. Additionally, the successfully employed probationers (for at least three months) were rearrested 14% less than the unsuccessful program participants (who were unable to remain employed for at least three months). This simple evaluation preliminarily validates the widely held belief that sustained employment is directly related to reduced recidivism.

The Probation Employment Project (P.E.P.)

A unique collaboration, which came to be known as the Probation Employment Project was developed and implemented by Nova Ancora and a group of its service providers in order to establish a comprehensive on-site vocational training experience, combined with academic instruction and subsequent job placement. P.E.P. included the

Bowery Mission for the Homeless, the N.Y.C.- Vocational Training Center, the South Forty Corporation, the Nova Ancora Vocational Training and Employment Program and the Lehigh Safety Shoe Co.

The project is described as follows. Nova Ancora would refer pre-screened, drug free, motivated probationers to the N.Y.C.- V.T.C. for acceptance into their alternative high school which provides on-site vocational training combined with academic instruction. If accepted, the probationers/students would be sent to the Bowery Mission for the homeless where they would help renovate two floors of the Bowery Mission, while being instructed and mentored (in the building trades) by skilled instructors/teachers from the Board of Education's N.Y.C.- V.T.C. (for approximately 3 1/2 hours per day). Following the "construction work" part of the day, the probationers/students would receive academic instruction, leading to their High School Diploma (for 1 1/2 hours per day). The students would receive free carfare, lunch and a daily stipend.

Upon completion of the renovation of the Bowery Mission, program graduates would be serviced by the South Forty Corporation, which would provide job placement and career counseling. The Lehigh Safety Shoe Corporation would donate free pairs of safety shoes in order to support the P.E.P. and its participants. Nova Ancora, in addition to pre-screening, drug testing and referring qualified probationers would provide expeditious follow-up and support services for the program's participants and the service providers. Additionally, Nova Ancora would direct and promote a smooth working relationship among the various service providers and oversee a smooth transition between the programmatic stages.

As of the writing of this report (March 1998) probationers are currently successfully participating in the renovation of the Bowery Mission and are receiving academic instruction. All students have received free safety shoes as donated by the Lehigh Safety Shoe Company. Significantly, the probationers have not been rearrested to date.

The Restitution Collection Project (R.C.P.)

A new initiative which is managed by Nova Ancora, is the Restitution Collection Project in collaboration with Wildcat Service Corporation. Probationers who have been "promised" a probation sentence with restitution as a "special condition" of probation are referred for pre-screening for subsidized employment, to the Wildcat Service Corporation. If accepted by "Wildcat", probation officers recommend participation in the Restitution Collection Project (R.C.P.) as an additional "special condition", in the pre-sentence investigation report that is submitted to the court at time of the sentencing of the defendant. If the pre-screened, drug free, probationer is sentenced to probation with restitution and cooperative participation in the R.C.P. as "special conditions", the probationer is referred to the Wildcat Service Corporation, via Nova Ancora for subsidized job placement.

The significant aspects of R.C.P. are that an unemployed probationer receives a job and the victim in the case is paid restitution with 10% of the probationer's salary. Essentially, the victim receives \$72.00 per month if the probationer, who earns \$180.25 per week, gross salary, works the full work week. The probationer also receives one week of life skills/pre-employment training prior to job placement.

The probationer upon acceptance into R.C.P. is placed in subsidized employment for a six month period, during which, a check, amounting to 10% of the probationer's gross wages, is forwarded directly to the N.Y.C. Department of Probation's Central Restitution Unit for processing and forwarding to the victim. Probationers placed in either clerical, maintenance or construction work. After the probationer has worked for four months, in subsidized employment, he begins meeting with a job developer, who assists the probationer in his search for unsubsidized employment (while he works the last two months of the subsidized employment phase of the program).

The Data Collection Form, The Computerized Database and The Resource Directory

In order to gather the necessary identifying information, the probation case data and the specific Nova Ancora information (both pre-referral and follow-up) a comprehensive Data Collection Form was devised. This form is completed by the Nova Ancora representative while speaking to and querying the referring probation officer. The probation officer has the probationer's case folder in front of him when he calls Nova Ancora. Most often, the probationer is in the probation officer's office when the probation officer telephones Nova Ancora. The Data Collection Form includes sections for follow-up information and fields of entry for additional resources to which the probationer may be referred.

A Computerized Database was developed shortly after the Data Collection Form was created in order to mirror the Data Collection Form. A data entry operator enters the information, on each probationer, which has been collected on the Data Collection Form, into the database and then returns the form to the Nova Ancora representative who originally took the referral. The Nova Ancora representative files the Data Collection Form in folders, (alphabetically) and by the resource to which the probationer has been referred. When follow-up information is obtained or additional referrals are made, by a Nova Ancora representative, the Data Collection Forms are retrieved, updated and the new information is added to the database.

A Nova Ancora Resource Directory was also developed so that Nova Ancora representatives could have easy access to the resources that have been developed. The resources have been categorized by: 1)Employers 2)Not-For-Profit Corporations 3)Labor Unions 4)Vocational Training and Continuing Education Programs 5)Other City and State Agencies.

The Statistics Regarding The Number of Probationers Serviced by Nova Ancora

The compilation of accurate statistics was made immeasurably easier by the development of the computerized database in November 1995. In fiscal 1996 (7/01/95 - 6/30/96) Nova Ancora serviced 524 probationers and exceeded expected projections. In fiscal 1997 (7/01/96 - 6/30/97) Nova Ancora, hoping to better the previous years mark, succeeded, by actually servicing 1,000 probationers. In fiscal 1998 (7/01/97 - 6/30/98) the program hopes to exceed that mark with a goal of 1,100 probationers. As of 4/14/98, it has already serviced 867 probationers. For the third straight year, with no increase in budget or staff (we have only four) the program is once again on course towards surpassing its stated goal.

Recent Developments

Two new excellent resources have been developed in the areas of vocational training and continuing education. Nova Ancora has affiliated with Comp-U-Center at the Central Queens Y.M.C.A. This new and innovative program offers students four different courses in the computer sciences, ranging from an entry level "Introduction to Computer" course to more advanced courses including Windows 95 and Microsoft Word. The courses are offered in the morning, afternoon and evening hours, as well as on Saturdays. Students may take one or two months to complete each course depending on their frequency of attendance (once per week or twice per week). Significantly, the maximum class size is six, allowing for individual attention. The classes cost \$100.00 per course and, for our probationers, a flexible payment plan will be developed.

The second new resource is the S.U.N.Y.- Brooklyn Educational Opportunity Center which offers free vocational training, academic instruction, support services and job placement for qualified probationers. Courses include: word processing, computer service field technician, custodian service systems, data entry, medical billing, medical receptionist, database management and many more. S.U.N.Y.- Brooklyn E.O.C.'s mission is: "to assist academically and economically disadvantaged adults to become life long learners committed to self-development and excellence." We are excited about linking with this comprehensive program.

Nova Ancora recently received a proposal from the South Forty Corporation, with which we have been non-contractually affiliated for the past three years. This proposal is for "South Forty" to provide employment readiness and job placement services to 100 probationers. We are researching possible funding sources in order to make a contractual linkage with this outstanding organization a reality.

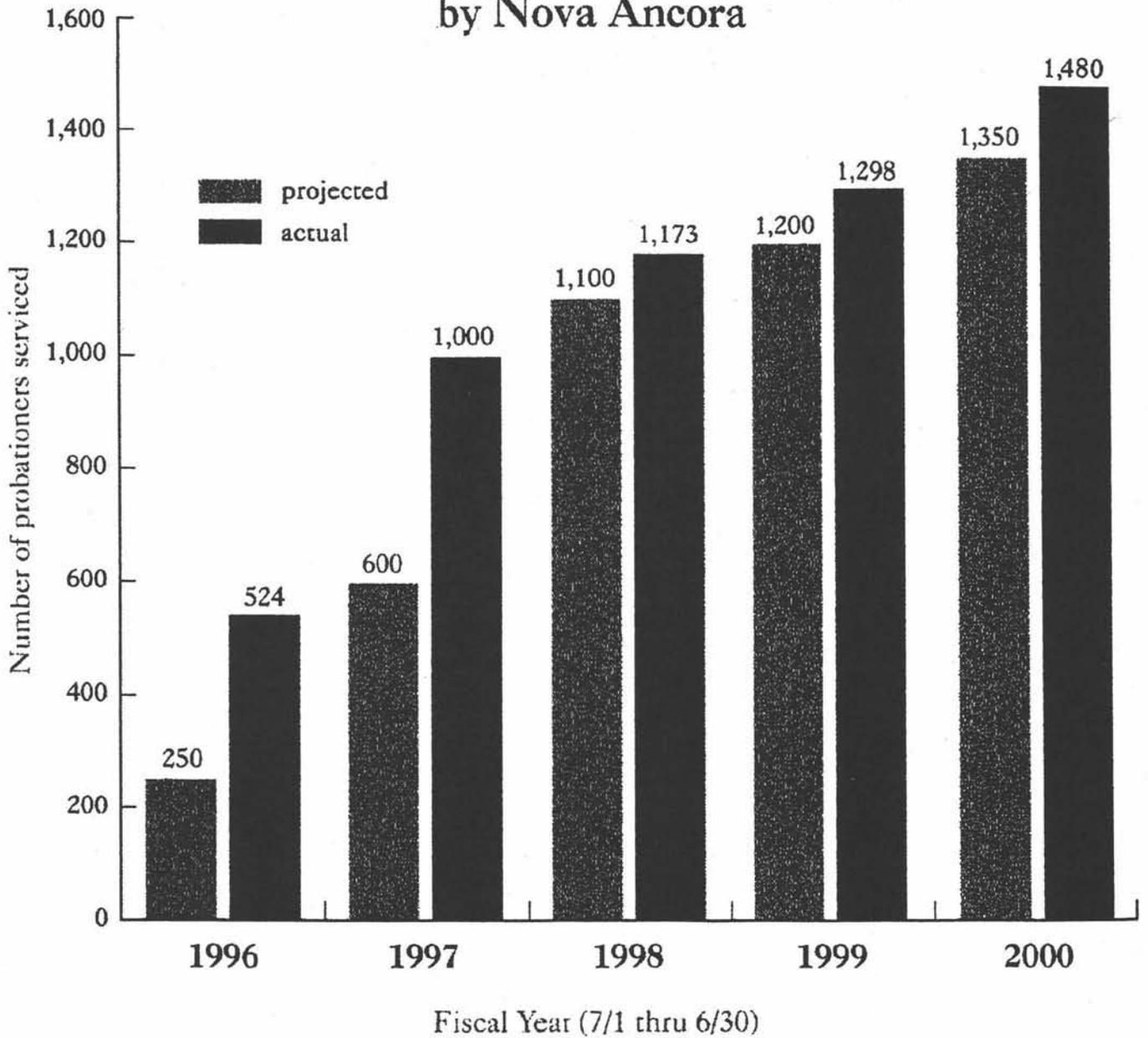
Finally, we are hoping to increase the size of our staff in order to provide improved and more comprehensive services to our probationers. All of what has been accomplished since March 1994, when Louis M. Gelormino, Deputy Commissioner for Law and Employment, revived and re-organized the program has been done with a staff of four! Under the direction and guidance of the Deputy Commissioner Gelormino, Eden J. Weiss, Assistant Commissioner for Vocational Training and Job Development manages the daily operations of Nova Ancora and supervises Probation Officer William Houser, Community Coordinator, Probation Officer Carletta Thompson, Program Liaison and Yvette Rivera, Secretary.

Departmental Recognition and Conclusion

Commissioner Raul Russi appointed by Mayor Rudolph W. Guiliani in August 1996, has been supportive of Nova Ancora and has been instrumental in helping this creative and unique program achieve its mission and goals.

Significantly, Nova Ancora received the 1997 Unit Citation Award at the Probation Departmental Recognition Day and Awards Ceremony. Nova Ancora continues to protect public safety by providing probationers with opportunities in areas of employment, vocational training, continuing education and life skills preparation while striving to help probationers raise their level of self-esteem and live as crime free, productive members of the community.

Annual Number of Probationers Served by Nova Ancora



資料3 ニューヨーク州における外国人プロベーションの状況



STATE OF NEW YORK
EXECUTIVE DEPARTMENT
DIVISION OF PROBATION AND CORRECTIONAL ALTERNATIVES
4 TOWER PLACE, ALBANY, NEW YORK 12203-3702

TELEPHONE (518) 485-2395

FAX (518) 485-5140

GEORGE E. PATAKI
GOVERNOR

GEORGE L. SANCHEZ
STATE DIRECTOR

October 31, 2000

Hiroki Shimizu, Consul
Consular and Visa Affairs
Consulate General of Japan
299 Park Avenue
New York, NY 10171

Dear Mr. Shimizu:

This letter is in response to your inquiry, which you sent earlier this month. Your letter described the interests being pursued by the Research and Training Institute in the Ministry of Justice, which are focusing on the probation and parole supervision of foreign nationals and ethnic minorities.

I first must advise you that probation is a function of local government in New York State. There are 57 counties and the City of New York, all of which operate a local probation department. It is the role of this agency to provide oversight for the statewide probation system. In this relationship, our offices are not responsible for the direct provision of programs or services to probationers in the state.

For your information, I am attaching a report which specifies the number and type of ethnic minorities who have been placed on probation supervision during the decade of the 1990s. In general, it is accurate to say that in this state, probation services are not designed to be provided to probationers on the basis of minority status. There are also no specific programs designed to deal with foreign residents sentenced to probation. In fact, the number of foreign residents under probation supervision is not a data element which is routinely collected by local probation departments.

We do not have the capacity to answer your specific questions inasmuch as we do not collect data as to programs, treatment strategies or options which might be used in the supervision of foreign residents or ethnic minorities. As indicated above, programs are not designed to provide services based upon race or ethnicity. Rather, the probation system tends to assign offenders to specialized programs or treatment strategies based upon a needs assessment conducted on the individual offender.

I am sorry to inform you that we do not have any other data, reports or manuals specifically dealing with the issues raised in your correspondence. I wish you the best in your efforts. If you would like to further discuss these matters with me, feel free to call at [518] 485-2395.

Sincerely,

A handwritten signature in cursive script that reads "Sara Tullar Fasoldt".

SARA TULLAR FASOLDT
Executive Deputy Director

att.

STATEWIDE TOTALS
PROBATION CASES
SENTENCED 1/1/99 TO 12/31/99

				CONVICTION CATEGORY				TOTAL
				FELONY	MISD.	JOY/OJD	VIOL.	
GENDER	FEMALE	RACE/ETHNICITY	BLACK	1,139	1,784	240	48	3,211
			HISPANIC	414	409	54	8	885
			OTHER	63	71	12	0	146
			UNKNOWN	30	103	7	6	146
			WHITE	1,122	2,695	417	74	4,308
		TOTAL	2,768	5,062	730	136	8,696	
		AGE IN YEARS	<16	11	2	12	0	25
		16-18	186	196	566	9	957	
		19-21	273	564	128	9	974	
		22-24	248	562	6	19	835	
		25-29	406	807	6	26	1,245	
		30-39	984	1,851	8	42	2,885	
		40+	655	1,072	4	31	1,762	
		TOTAL	2,763	5,054	730	136	8,683	
	MALE	RACE/ETHNICITY	BLACK	4,634	5,604	1,362	143	11,743
			HISPANIC	2,890	2,667	426	34	6,017
			OTHER	416	380	59	15	870
			UNKNOWN	154	308	74	28	564
			WHITE	5,601	10,438	2,351	353	18,743
		TOTAL	13,695	19,397	4,272	573	37,937	
		AGE IN YEARS	<16	123	8	113	0	244
		16-18	1,936	1,428	3,494	43	6,901	
		19-21	2,123	2,551	599	85	5,358	
		22-24	1,469	2,111	19	67	3,666	
		25-29	1,819	3,031	12	93	4,955	
		30-39	3,294	5,834	15	161	9,304	
		40+	2,866	4,347	17	119	7,349	
TOTAL	13,630	19,310	4,269	568	37,777			
GRAND TOTAL			16,463	24,459	5,002	709	46,633	

NYS DPCA
29 Jan 99

DEMOGRAPHICS

CLIENT DATA SYSTEM

STATEWIDE TOTALS

PROBATION CASES
SENTENCED 1/1/98 TO 12/31/98

	CONVICTION CATEGORY				TOTAL
	FELONY	MISD.	JO/YO/JD	VIOL.	
GENDER FEMALE					
RACE\ETHNICITY					
BLACK	1,146	1,962	286	59	3,453
HISPANIC	359	377	63	2	801
OTHER	42	72	8	1	123
UNKNOWN	53	116	19	4	192
WHITE	1,153	2,861	452	95	4,561
TOTAL	2,753	5,388	828	161	9,130
AGE IN YEARS					
<16	10	0	15	0	25
16-18	155	231	684	11	1,081
19-21	287	616	115	11	1,029
22-24	274	545	2	20	841
25-29	415	954	4	34	1,407
30-39	956	1,978	4	54	2,992
40+	656	1,064	4	31	1,755
TOTAL	2,753	5,388	828	161	9,130
MALE					
RACE\ETHNICITY					
BLACK	5,139	5,601	1,476	200	12,416
HISPANIC	2,929	2,462	506	50	5,947
OTHER	344	296	60	4	704
UNKNOWN	332	483	115	51	981
WHITE	6,033	10,908	2,312	432	19,685
TOTAL	14,777	19,750	4,469	737	39,733
AGE IN YEARS					
<16	66	0	197	0	263
16-18	2,110	1,507	3,648	69	7,334
19-21	2,345	2,564	562	74	5,545
22-24	1,572	2,021	9	65	3,667
25-29	2,054	3,276	17	99	5,446
30-39	3,698	5,941	23	263	9,925
40+	2,932	4,441	13	167	7,553
TOTAL	14,777	19,750	4,469	737	39,733
GRAND TOTAL	17,530	25,138	5,297	898	48,863

STATEWIDE TOTALS
ADULT PROBATION CASES
SENTENCED 1/1/97 TO 12/31/97

				CONVICTION CATEGORY				
				FELONY	MISD.	JO/YO	VIOL.	TOTAL
GENDER	FEMALE	RACE\ETHNICITY	BLACK	1,285	1,753	198	76	3,312
			HISPANIC	465	344	49	7	865
			OTHER	59	59	6	5	129
			UNKNOWN	28	42	3	4	77
			WHITE	1,132	2,605	398	78	4,213
		TOTAL	2,969	4,803	654	170	8,596	
		AGE IN YEARS	<16	0	0	10	0	10
		16-18	196	226	524	8	954	
		19-21	283	562	101	13	959	
		22-24	238	517	2	16	773	
		25-29	496	905	4	34	1,439	
	30-39	1,096	1,732	9	74	2,911		
	40+	644	853	4	25	1,526		
	TOTAL	2,953	4,795	654	170	8,572		
	MALE	RACE\ETHNICITY	BLACK	5,334	5,389	1,288	357	12,368
			HISPANIC	3,385	2,399	409	73	6,266
			OTHER	349	332	60	6	747
			UNKNOWN	177	253	20	20	470
			WHITE	6,125	10,844	2,354	458	19,781
		TOTAL	15,370	19,217	4,131	914	39,632	
		AGE IN YEARS	<16	7	0	114	0	121
		16-18	2,429	1,627	3,404	50	7,510	
		19-21	2,491	2,435	543	116	5,585	
		22-24	1,580	2,076	18	87	3,761	
		25-29	2,128	3,234	16	132	5,510	
		30-39	3,864	5,955	20	320	10,159	
		40+	2,763	3,791	16	206	6,776	
TOTAL		15,262	19,118	4,131	911	39,422		
GRAND TOTAL				18,339	24,020	4,785	1,084	48,228

NYS DPCA
31 Jan 97

DEMOGRAPHICS

CLIENT DATA SYSTEM

STATEWIDE TOTALS

ADULT PROBATION CASES
SENTENCED 1/1/96 TO 12/31/96

	CONVICTION CATEGORY				TOTAL
	FELONY	MISD	JO/YO	VIOL.	
SEX					
FEMALE					
RACE\ETHNICITY					
BLACK	1,330	1,641	217	81	3,269
HISPANIC	452	313	36	5	806
OTHER	83	73	10	0	166
UNKNOWN	26	58	9	1	94
WHITE	1,174	2,429	342	90	4,035
TOTAL	3,065	4,514	614	177	8,370
AGE IN YEARS					
<16	1	0	17	0	18
16-18	172	242	470	5	889
19-21	278	496	102	23	899
22-24	265	506	1	18	790
25-29	551	931	9	44	1,535
30-39	1,168	1,578	10	56	2,812
40+	630	761	4	31	1,426
TOTAL	3,065	4,514	613	177	8,369
MALE					
RACE\ETHNICITY					
BLACK	5,640	5,377	1,441	290	12,748
HISPANIC	3,185	2,347	431	43	6,006
OTHER	597	371	65	9	1,042
UNKNOWN	129	196	31	16	372
WHITE	6,198	10,594	2,501	383	19,676
TOTAL	15,749	18,885	4,469	741	39,844
AGE IN YEARS					
<16	0	1	106	0	107
16-18	2,658	1,715	3,608	50	8,031
19-21	2,425	2,329	637	102	5,493
22-24	1,563	1,918	21	79	3,581
25-29	2,242	3,379	20	133	5,774
30-39	4,092	5,873	46	239	10,250
40+	2,769	3,669	31	138	6,607
TOTAL	15,749	18,884	4,469	741	39,843
GRAND TOTAL	18,814	23,399	5,083	918	48,214

NYS DPCA
25 Jan 96

DEMOGRAPHICS

CLIENT DATA SYSTEM

STATEWIDE TOTALS

ADULT PROBATION CASES
SENTENCED 1/1/95 TO 12/31/95

	CONVICTION CATEGORY				TOTAL
	FELONY	MISD.	JO/YO	VIOL.	
SEX FEMALE					
RACE\ETHNICITY					
BLACK	1,153	1,221	197	59	2,630
HISPANIC	477	259	43	6	785
OTHER	83	41	11	2	137
UNKNOWN	36	131	1	32	200
WHITE	993	2,188	305	50	3,536
TOTAL	2,742	3,840	557	149	7,288
AGE IN YEARS					
<16	0	0	13	0	13
16-18	207	227	419	8	861
19-21	232	427	87	11	757
22-24	246	432	9	12	699
25-29	522	805	10	38	1,375
30-39	1,060	1,329	15	57	2,461
40+	475	620	4	23	1,122
TOTAL	2,742	3,840	557	149	7,288
MALE					
RACE\ETHNICITY					
BLACK	5,214	4,516	1,267	255	11,252
HISPANIC	3,292	2,185	502	37	6,016
OTHER	601	358	49	3	1,011
UNKNOWN	308	524	25	154	1,011
WHITE	5,696	10,284	2,164	339	18,483
TOTAL	15,111	17,867	4,007	788	37,773
AGE IN YEARS					
<16	5	2	148	0	155
16-18	2,575	1,560	3,145	61	7,341
19-21	2,258	2,127	559	125	5,069
22-24	1,568	2,070	24	94	3,756
25-29	2,236	3,377	50	135	5,798
30-39	3,910	5,609	49	252	9,820
40+	2,557	3,121	31	120	5,829
TOTAL	15,109	17,866	4,006	787	
GRAND TOTAL	17,853	21,707	4,564	937	

資料4 メリーランド州における外国人プロベーションの状況

NOV-14-2000(TUE) 10:20

PAROLE & PROBATION DIVISION

410 764 4091

P.UUZ



DEPARTMENT OF PUBLIC SAFETY AND CORRECTIONAL SERVICES
MARYLAND DIVISION OF PAROLE AND PROBATION

PARRIS N. GLUDENING
Governor

KATHLEEN KENNEDY TOWNSEND
Lieutenant Governor

6776 Reisterstown Road Suite 305

Baltimore, Maryland 21215

VOICE (410) 585-3500 FAX (410) 764-4091

TOLL FREE 877-227-8031

STUART G. SBARO
Secretary

JOYCE SACHMANN
Director

Yasuaki Sugawara
Third Secretary
Embassy of Japan
2520 Massachusetts Avenue
Washington, D.C. 20008-2869

November 14, 2000

Dear Mr. Sugawara,

I have arranged for Mr. Someda to visit the Silver Spring office of the Maryland Division of Parole and Probation located at 8719 Colesville Road, Second Floor, Silver Spring, Maryland 20910. The telephone number is 410-588-8240. I have enclosed a map. Mr. Someda will be met by Sammy Cherry, Acting Field Supervisor II, who will arrange for Mr. Someda to interview field agent staff. She will be expecting Mr. Someda to arrive around 10:00 a.m. on the 21st.

In response to Mr. Someda's inquiry regarding a statistical breakdown of ethnic groups under supervision, I can tell him only that 36.5% of the 46,000 parolees and probationers/under active supervision are White, 62.7% are Black, .4% are Asian, .1% are American Indian and another .3% are of unknown ethnicity. There is no way of telling from this breakdown what number is of Hispanic origin. The Division of Parole and Probation does not capture country of origin in its database. The Silver Spring office supervises a significant number of Spanish speaking offenders (there is a large El Salvadoran population in the D.C. area). The same office has numbers of offenders who were born in West African countries and former USSR states. The language barriers pose problems in the supervision of the case in that the agent cannot always be sure that the offender understands what is required. The cultural differences that I spoke of involve assimilation problems experienced by most newly arrived ethnic groups. Often young men in these populations gravitate to gang activity as a means of protection and to reinforce their cultural identity. This gang activity can constitute a violation of supervision rules. } BAI

I cannot give exact figures on the number of advocacy groups. Agents use these groups when there are no interpreter services or family members who can interpret for them. This is done on a case-by-case basis and there is no agency budget to support this. The courts also have interpreters available and often the court interpreter will accompany the offender to the Parole and Probation intake interview.

If Mr. Someda has further questions after his visit he can reach me at the number listed below. I hope he finds his visit informative and enjoyable.

Sincerely,

Priscilla Griffith
Program Coordinator
Division of Parole and Probation
410-585-3527
Fax 410-764-4091

資料5 通訳サービス会社 LEE-LINK

LEE-LINK[®]

User's Guide



LLE-LINK® Quick Start

1. **Dial** 1 800 234 - 0780
2. **Enter** your 4 digit access code.
3. **Listen** to the menu and select the desired language.
4. **Introduce** yourself and briefly explain the situation to the interpreter.
5. **Instruct** the interpreter to proceed.

Please see the following pages for more information



LLE-LINK® Detail Sheet

For your convenience, LLE's system allows you to dial ahead of the menu, i.e., if you know the language code, you need not wait for the menu! Please note that entering the language code is necessary to ensure proper billing and is the most efficient way to reach an interpreter.

If you require language identification assistance, press "0" to speak with a Customer Service Representative (CSR).

CODE	LANGUAGE	COUNTRY/REGION WHERE SPOKEN
1	Spanish	Spain, Latin America
2	Vietnamese	Vietnam
3	Korean	Korea
4	German	Germany, Austria
91	Amharic	Ethiopia
92	Arabic	All Arab countries
93	Cantonese	China, Guangzhou region
94	Farsi	Iran
95	French	France, West and Central Africa
96	Japanese	Japan
97	Mandarin	China
98	Pashto	Afghanistan, Pakistan
991	Cambodian	Cambodia (Southeast Asia)
992	Thai	Thailand (Southeast Asia)
993	Greek	Greece
994	Hindi	India
995	Italian	Italy
996	Portuguese	Portugal, Brazil, Mozambique
997	Russia	Russia, former USSR republics
998	Hausa	Nigeria
999	Urdu	Pakistan (Southwest Asia)

Note: Interpreters for other languages are available and accessible through a Customer Service Representative by pressing "0."



LLE-LINK® Client Protocol

1. **You will be greeted by the interpreter. For example,**
"LLE-LINK, this is Wendell, how may I help you?"

2. **Identify yourself by name and company affiliation, and identify your caller. For example,**
"This is Kathy Juliana with Ebster International and I have Mr. Tho Van Nguyen here with me."

3. **Briefly state the situation and information you need from your client. For example,**
"We are filling out an application and I need his address, social security number and person to contact in case of an emergency."

4. **Instruct the interpreter to promptly proceed with the interpretation.**

5. **When you are finished, inform the interpreter. For example,**
"Wendell, I've obtained the necessary information, thank you for your help."



Customer Support

Address **Language Learning Enterprises, Inc.**
1100 17th Street, N.W.
Suite 900
Washington, D.C. 20036

Telephone (202) 775 - 0444 8:00am - 6:00pm

Facsimile (202) 785 - 5584 24 hours

**E-Mail
Address** Interling@aol.com

Accounting Brian J. Linn, Controller
Anjali Bector, Billing

Comments Fred Beu, Sales Manager
Brian J. Linn, Technical Designer

LLE-LINK® is a Registered Service Mark of LLE, Incorporated
September 1995



資料6 通訳ボランティア—ランゲジ・バンク・エージェンシー

Language Bank Volunteer Phone List**Updated: 3/29/00**

Offices of the County Executive
Volunteer and Community Service Center
401 Hungerford Drive, 1st Floor
Rockville, Maryland 20850

(Replaces 1/12/00 Version)

Phone: 240-777-2600 Fax: 240-777-2601 E-mail: molly.callaway@co.mo.md.us

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Amharic	Betley Birtukan	Esayas	F	Crisis OK	Oral Interpretation	Available by phone M-Th 8am-5pm at work and 9pm-M at home or F-Su 8am-7pm at home.	(W) 703-780-5527; (H) 703-566-6586	
Amharic	Haile	Habile	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice anytime.	(H) 301-947-8589	Medical, legal
Arabic	Siham	Eldadah	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person Tu, Th 1pm-5pm.	(H) 301-929-1441	
Arabic	Abir	Fareed	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice daily from 10am-8pm.	(H)301-258-5119	
Arabic (Kabyle), German, Spanish, French	Anissa	Kleinau-Juan	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person anytime.	(H/W) 410-489-5383	

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Arabic, Spanish, French	Nicole	Kourany	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 10am-2:30pm.	(H) 301-869-4685	
Bengali, Hindi	Anis	Ahmed	M	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 6pm-Midnight.	(H) 301-881-0845; (W) 240-777-8106	
Braille(Hindi & English), Hindi, Urdu	Yasmin	Reyazuddin	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with one day notice. Call before 7pm.	(H) 301-949-6685	Reads & transcribes Braille.
Chinese	Yuying	Su	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person Tu-W 10am-4pm.	(H) 301-656-0864	Business/Finance.
Chinese	Janey	Zhu	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F by request or Sa-Su anytime.	(H) 240-631-9435	
Chinese (Cantonese & Mandarin)	Nora	Szeto	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M-F 8:30am-4:30pm.	(H) 301-767-7937	
Chinese (Cantonese)	Teresa	Au	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice M,Th,& F from noon-8pm and Sa-Su 9am -4pm	(H) 301-515-0594	

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Chinese (Cantonese)	Sing-huen	Morgan	F	Non-Crisis	Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call M-F 9am-6pm or Sa-Su Noon-6pm.	(H/W) 301-652-1935	
Chinese (Mandarin & Shanghaiese)	Joy	Lee	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M-F 7pm-10pm. Sa anytime.	(H) 301-933-0390; (E) joy_0390@yahoo.com	
Chinese (Mandarin)	Mary	Chang	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available in person with advance notice. Call M-F 8am-4:30pm.	(W) 240-777-7005	
Chinese (Mandarin)	Sherry	Riedel	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available in person. Call M-F 9am-5pm.	(H) 301-987-0558; (E) sherryzhang@mailcity.com	
Chinese (Mandarin)	Delia	Tang	F	Non-crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice M-W & F 4pm-9pm or Su 7am-9pm.	(W) 301-496-0299	Medical, financial.
Chinese (Mandarin), Japanese	Young-Ho	Kim	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call anytime except Su 11am-1pm.	(H) 410-590-1632	
Chinese (Mandarin), Taiwanese	Iris	Yu	F	Non-Crisis	Written Translation (Mandarin only) & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 6pm-9pm or Sa-Su noon-5pm.	(W) 301-517-4129	

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Chinese(Cantonese & Mandarin)	Astrid	Szelo	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Except in emergencies, available by phone or in person M-F after office hours and Su 8am-Noon.	(W)301-827-6330; (H) 301-983-3682	
Chinese, Taiwanese	A-LI	Hu	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call Tues, Wed, Thur 10am-3pm.	(H) 301-564-0640	
Creole (Haitian), French, Spanish	Marie Michel	Gustave	F	Crisis OK	Written Translation(except Spa.) & Oral Interpretation (all)	Available by phone or in person M-F 3-7pm and weekends anytime.	(H) 240-631-2040	
Creole(Haitian)	Yvonne	Estime	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F after 6pm or Sa-Su afternoon.	(H) 301-588-3703	Legal
Czech	Jane	Barton	F	Crisis OK	Oral Interpretation	Available by phone or in person anytime.	(H) 301-365-6444	
French	Sandrine	Berger	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 9am-Noon.	(H) 301-987-8940; (E) sandrine@dcemail.com	
French	Jean-Calvin	Boock	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available in person. Call M-Sa 8:30am-3pm.	(H) 301-214-6755	

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
French, Arabic, Spanish	Nicole	Kourany	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 10am-2:30pm.	(H) 301-869-4685	Medical, legal
French, German, Spanish, Arabic (Kabyle)	Anissa	Kleinau-Juan	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person anytime.	(H/W): 410-489-5363	
French, Italian	Emma Grazia	Della Fina	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone on-call or in person with advance notice. Call M-F 8am-4pm at work or 6pm-8am at home. Call Sa-Su anytime.	(H) 301-215-7161; (W) 202-966-4041	
French, Italian	E. William	Talge	M	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call daily 8am-8pm.	(H) 301-229-2952; (FAX) 301-229-7639	
French, Japanese	Paul	Hersey	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M-F 9am-11:30am, 1:30pm-5pm at work or at home anytime.	(H)202-965-6336; (W) 202-261-8775,X48775	Professional Conference Interpreter; interpreter for State Dept.
French, Portuguese, Italian, Spanish	Gigliola	Talge	F	Non-Crisis	Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call daily 8am-8pm.	(H) 301-229-2952	
French, Spanish	Elisabeth	Van Houtven	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call M-F 8am-5pm.	(H) 301-229-7323	

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
French, Spanish, Hebrew	Jonathan	Levin	M	Non-Crisis	Oral Interpretation	Available in person with advance notice. Call M-F 8am-10am and 6pm-8pm or Su 10am-8pm.	(H) 301-530-3506	
French, Spanish, Portuguese	Hannah	Gershon	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call Su-Th anytime.	(H) 301-649-3963	
French, Spanish, Portuguese	Carlos	Gois	M	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice Jan-May and Aug-Oct anytime.	(H) 301-229-8352; (E) carlosgg@AOL.com	Emphasis on Portu. & French.
French, Spanish, Creole (Haitian)	Marie Michel	Gustave	F	Crisis OK	Written Translation (except Spa.) & Oral Interpretation (all)	Available by phone or in person M-F 3-7pm and weekends anytime.	(H) 240-631-2040	
French, Swahili, Lingala, etc.	Alhanase T.	Kabundji	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone Tu & Th anytime; also Sa-Su before Noon and after 9pm.	(cell) 301-412-8127; (H) 301-929-2599	
French, Vietnamese	Huan	Phan	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available Sa-Su anytime.	(H) 301-622-4516	
French, Vietnamese	Tin	Tran	F	Crisis OK	Oral Interpretation	Available by phone anytime or in person 8am-6pm.	301-299-3283	

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
German, Russian	Lyda	Franz	F	Crisis OK	Oral Interpretation	Available by phone M-F 8am-6pm.	(H) 301-593-8751	
German, Spanish, French, Arabic (Kabyle)	Anissa	Kleinau-Juan	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person anytime.	(H/W): 410-489-5383	
Greek	Juliani	Galzoulis	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M-F 7pm-10pm or Sa-Su 6am-10pm.	(H) 301-299-3614	Engineering, financial
Guarani, Spanish, Portuguese	Nilida	Cruikshank	F	Non-crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone M-Sa 8pm-10pm or Sa 9pm-11pm.	(H) 301-916-0663	
Hausa(West Africa), Spanish	Bridget	Money penny	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M-F after 5pm or Sa-Su anytime.	(H) 301-251-1063	Medical (EMT).
Hebrew, French, Spanish	Jonathan	Levin	M	Non-Crisis	Oral Interpretation	Available in person with advance notice. Call M-F 8am-10am and 6pm-8pm or Su 10am-8pm.	(H) 301-530-3506	
Hindi, Bengali	Anis	Ahmed	M	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 6pm-Midnight.	(H) 301-881-0845; (W) 240-777-8106	

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Hindi, Tamil, Sign Language (ASL)	Shanithi	Subramanian	F	Crisis OK	Oral Interpretation	Available by phone or in person M, Th, F afternoon and early evening or Sa-Su daytime.	(H) 301-229-0729	
Hindi, Urdu, Braille(Hindi, English)	Yasmin	Reyazuddin	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with one day notice. Call before 7pm.	(H) 301-949-6685	Reads & transcribes Braille.
Italian, French	Emma Grazia	Della Fina	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone on-call or in person with advance notice. Call M-F 8am-4pm at work or 6pm-8am at home. Call Sa-Su anytime.	(H) 301-215-7161; (W) 202-966-4041	
Italian, French	E. William	Talge	M	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call daily 8am-8pm.	(H) 301-229-2952; (FAX) 301-229-7839	
Italian, French, Spanish, Portuguese	Gigliola	Talge	F	Non-Crisis	Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call daily 8am-8pm.	(H) 301-229-2952	
Japanese	Keiko	Hashitamoto	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person daily 9:30am-9pm, with advance notice in daytime.	(H)301-251-0825;(E) hashiraa@mail.nih.gov; (fax)301-251-0825	Medical
Japanese	Fumie	Kinoshita	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 8am-7pm or Sa 8am-3pm.	(H) 301-468-3559	Uses public transportation.

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Japanese	Tomoko	Morinaga	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-W 6pm-8pm or Sa 9am- Noon.	(E) tm28831@ix.netcom.com	Banking.
Japanese	Takako	Sugiyama	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice anytime except Tu, Th after noon.	(H) 301-987-2763	Finance.
Japanese, Chinese (Mandarin)	Young-Ho	Kim	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call anytime except Su 11am-1pm.	(H) 410-590-1632	
Japanese, French	Paul	Hersey	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M-F 9am- 11:30am, 1:30pm-5pm at work or at home anytime.	(H)202-965-6336; (W) 202-261- 8775.X48775	Professional Conference Interpreter; interpreter for State Dept.
Korean	Edward H.	An	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M, Tu after 6 pm, Th anytime, or Sa 10am-5pm.	(H) 301-948-6463; (W)301-948-2288; (FAX)301-926- 6700;(E)Edwardan @earthlink.net	
Korean	Young Soo	Choi	F	Non- Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call any day 8am-9:30am or 5pm-10pm.	(H) 301-564-0612	Medical, pharmacological and toxicological (espec. pulmonary drugs)
Korean	Jaewook	Jeong	M	Non- Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available in person M,W, F 6pm-10pm, Sa 9am-6pm, or Su 3pm-10pm. Can be called in daytime.	(W) 703-556-0349; (H) 301-428-9309	Finance

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Korean	Young	Park	M	Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 9am-10pm.	(H) 301-762-5988	
Korean	Joo Sub	Song	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone. Call anytime except M-F 5am-6pm.	(H) 301-216-1427	Hospital interpreter.
Laotian, Vietnamese, Thai	Sophia	Nguyen	F	Crisis OK	Oral Interpretation Only	Available by phone or in person with advance notice anytime.	(H) 301-515-7461	
Lingala, French, Swahili, etc.	Athanase T.	Kabundji	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone Tu & Th anytime; also Sa-Su before Noon and after 9pm.	(cell) 301-412-8127; (H) 301-929-2599	
Polish	Krystyna	Dollison	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person anytime.	(H) 301-229-5006	Medical, health, legal. Interpreter for State Dept., Polish Embassy, & AT&T.
Portuguese	Mariangela	Emilio	F	Crisis OK	Oral Interpretation.	Available by phone or in person M-F 9am-5pm only for an emergency.	(H) 301-365-3020	Education background.
Portuguese	Linda	Rabben	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call before 11 pm, unless an emergency.	(H) 301-270-3003	

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Portuguese	Elyse	Stussi	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone, e-mail, or in person with advance notice M-F 8am-6pm or Sa-Su anytime.	(H) 301-962-6845; (E) cubra@ wans.net	
Portuguese, French, Spanish	Hannah	Gershon	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call Su-Th anytime.	(H) 301-649-3963	
Portuguese, French, Spanish	Carlos	Gois	M	Non- Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice Jan-May and Aug-Oct anytime.	(H) 301-229-8352; (E) carlosqg@AOL.com	Emphasis on Portu. & French.
Portuguese, Guarani, Spanish	Nilda	Cruikshank	F	Non- Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice Jan-May and Aug-Oct anytime.	(H) 301-916-0663	
Portuguese, Italian, French, Spanish	Gigiola	Talge	F	Non- Crisis	Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call daily 8am-8pm.	(H) 301-229-2952	
Portuguese, Spanish	Dimas	Chavez	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone on call or in person with advance notice. Call M-F 8:15am-5pm at work or after 6pm at home.	(H) 301-424-5607; (W) 703-875-6555	
Portuguese, Spanish	Miriam	Chavez	F	Non- Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone on call or in person with advance notice. Call M-F 8:30am-4:30pm at work. Call home M-F after 6:30pm, Sa 9:30am-5pm, or Su N-5pm.	(H) 301-424-5607; (W) 202-623-1005; (E) miriane@iadb.org	Working for an international organization.

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Portuguese, Spanish	W. Donald	Hickman	M	Non-Crisis	Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M,W-Sa 8am-4pm except Jan-Mar & last half Nov.	(H) 301-946-5773	Legal, Medical, Economics, Engineering, Construction, Public Safety
Portuguese, Spanish	Ruben E.	Padro	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone and in person with advance notice anytime.	(H) 301-598-7011; (Fax) 301-598-3983	
Romanian	Nicholas	Lungociu	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone on call or in person with advance notice. Call M-F 7am-8pm.	(H) 301-593-5272	
Russian	Terry	Angle	M	Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person anytime in an emergency or M-F after 9 pm and weekends anytime.	(W) 301-951-4877; (E) terry.angle@calvertgroup.com; or (H) 301-528-5967	Military, criminal, & communications.
Russian	Bella	Fikhman	F	Non-Crisis	Oral Interpretation	Available by phone on call or in person with advance notice. Call M-F 10am-5pm.	301-984-2528	
Russian, German	Lyda	Franz	F	Crisis OK	Oral Interpretation	Available by phone M-F 8am-6pm.	(H) 301-593-8751	
Sign Language(ASL), Hindi, Tamil	Shanthi	Subramanian	F	Crisis OK	Oral Interpretation	Available by phone or in person M,Th,F afternoon and early evening or Sa-Su daytime.	(H) 301-229-0729	

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Spanish	Edith	Ado	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M-F 9am-5pm at work or 5pm-9pm at home.	(H) 301-990-0773; (W) 301-984-4874, x2492	
Spanish	Annella	Auer	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone on call or in person with advance notice. Call M-F 8:30am-5pm.	(W) 202-974-3803	
Spanish	Lupe	Cabezas	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M-F N-2pm at work or M-Th, Sa 7pm-10:30pm at home.	(H) 301-424-8596; (W) 202-623-2183	
Spanish	Martha	Campos	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone on call or in person with advance notice. Call M-F 10am-5pm at work. Call M-F 7pm-11pm or Sa-Su 11am-8pm at home.	(H) 301-251-0643; (W) 202-623-1052	
Spanish	Cecilia I.	Castellanos	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F anytime or with advance notice Sa-Su anytime.	(W) 410-767-4212; (H) 301-570-3227; (E) CCUT283301@aol.com	
Spanish	Leslie	Correa	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice anytime.	(H) 301-528-0157; (W) 301-295-4545	
Spanish	M. Lourdes	Corso	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call Tu-W 10am-1pm or Th 9am-11am.	(H) 301-251-6318	

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Spanish	Richard	Daw	M	Crisis OK	Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F before 9am or after 5pm or Sa-Su anytime.	(H) 301-294-8059; (W) 202-541-3457	
Spanish	Theresa	Esquibel	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 8pm-7am or Sa-Su anytime.	(H) 301-608-3120	
Spanish	Jaime B.	Garay	M	Crisis OK	Oral Interpretation	Available daily by phone or e- mail 9am-10pm; in person 9am-12:30pm & 4:30pm-10pm.	(H) 202-588-0241; (E) jaimegallo1@hotmail.com	
Spanish	Boris	Popovic	M	Non- Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-Th 2pm-6pm or F anytime.	(H)301-977-5094	Uses public transportation
Spanish	Bradley	Prescott	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person Su-F mornings till 10:30 am & after 7:30 pm. Sat days until 8:30 pm. (email)bradprescott@yahoo.co m	(cell)202-302-0505; (H)301-963-4878; (W)202-458-3592	Master's in Translation&Interpretat ion pending; member Amer. Translation Assoc.
Spanish	Angela	Scott	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M-F 8am-4:30pm at work. Call M-F after 5pm or Sa-Su anytime.	(H) 301-762-5537	
Spanish	Francisco	Tacoa	M	Non- Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice Sa-Su 8am-7pm.	(H) 703-749-0517	Engineering

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Spanish	Obdulia	Tellez	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call M-F after 7pm or Sa-Su anytime.	(cell) 301-219- 9818, press 1	
Spanish	Clara	Torres-Knight	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone.	(H) 301-947-2848	
Spanish, French	Elisabeth	Van Houtven	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice daily 8am- 5pm.	(H) 301-229-7323	
Spanish, French, Arabic	Nicole	Kourany	F	Non- Crisis	Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 10am-2:30pm.	(H) 301-869-4685	
Spanish, French, Creole (Haitian)	Marie Michel	Gustave	F	Crisis OK	Written Translation(except Spa.) & Oral Interpretation (all)	Available by phone or in person M-F 3-7pm and weekends anytime.	(H) 240-631-2040	
Spanish, French, German, Arabic (Kabye)	Anissa	Kleinau-Juan	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person anytime.	(H/W): 410-489- 5383	
Spanish, Hausa	Bridget	Money Penny	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M-F after 5pm or Sa-Su anytime.	(H) 301-251-1063	Medical (EMT).

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Spanish, Hebrew, French	Jonathan	Levin	M	Non-Crisis	Oral Interpretation	Available in person with advance notice. Call M-F 8am-10am and 6pm-8pm or Su 10am-8pm.	(H) 301-530-3506	
Spanish, Portuguese	Dimas	Chavez	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone on call or in person with advance notice. Call M-F 8:15am-5pm at work or after 6pm at home.	(H) 301-424-5607; (W) 703-875-6555	
Spanish, Portuguese	Miriam	Chavez	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone on call or in person with advance notice. Call M-F 8:30am-4:30pm at work. Call home M-F after 6:30pm, Sa 9:30am-5pm, or Su 9:30am-5pm.	(H) 301-424-5607; (W) 202-623-1005; (E) miniane@iadb.org	
Spanish, Portuguese	W. Donald	Hickman	M	Non-Crisis	Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M,W-Sa 8am-4pm except Jan-Mar & last half Nov.	(H) 301-946-5773	Legal, Medical, Economics, Engineering, Construction, Public Safety
Spanish, Portuguese	Ruben E.	Padro	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone and in person with advance notice anytime.	(H) 301-598-7011; (Fax) 301-598-3983	
Spanish, Portuguese, French	Hannah	Gershon	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call Su-Th anytime.	(H) 301-649-3963	
Spanish, Portuguese, French	Carlos	Gois	M	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice Jan-May and Aug-Oct anytime.	(H) 301-229-8352; (E) carlosqg@AOL.com	Emphasis on Portu. & French.

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Spanish, Portuguese, Guarani	Nilda	Cruikshank	F	Non-Crisis	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice Jan-May and Aug-Oct anytime.	(H)301-916-0663	
Spanish, Portuguese, Italian, French,	Gigliola	Tatge	F	Non-Crisis	Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call daily 8am-8pm.	(H) 301-229-2952	
Swahili, French, Lingala, etc.	Athanasie T.	Kabundji	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone Tu & Th anytime; also Sa-Su before Noon and after 9pm.	(cell) 301-412-8127; (H) 301-929-2599	
Taiwanese, Chinese	A-Li	Hu	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with advance notice. Call Tues, Wed, Thur 10am-3pm.	(H) 301-564-0640	
Taiwanese, Chinese (Mandarin)	Iris	Yu	F	Non-Crisis	Written Translation (Mandarin only) & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 6pm-9pm or Sa-Su noon-5pm.	(W) 301-517-4129	
Tamil, Hindi, Sign Language (ASL)	Shanthi	Subramanian	F	Crisis OK	Oral Interpretation	Available by phone or in person M,Th,F afternoon and early evening or Sa-Su daytime.	(H) 301-229-0729	
Thai, Laotian, Vietnamese	Sophia	Nguyen	F	Crisis OK	Oral Interpretation Only	Available by phone or in person with advance notice anytime.	(H) 301-515-7461	

Language	First Name	Last Name	Sex	Crisis	Type of Services	Availability/Instructions	Phone	Comments
Urdu, Hindi, Braille(Hindi, English)	Yasmin	Reyazuddin	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person with one day notice. Call before 7pm.	(H) 301-949-6685	Reads & transcribes Braille.
Vietnamese	Huong	Nguyen	F	Crisis OK	Oral Interpretation	Available by phone or in person M,W,F 7am-Noon or by phone only Su 8am-2pm.	(pager) 301-655-3066	
Vietnamese	Cristina	Radi	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person M-F 6pm-10pm or Sa-Su 10am-1pm.	(H) 301-309-2372; (W) 301-504-3173	
Vietnamese, Laotian, Thai	Sophia	Nguyen	F	Crisis OK	Oral Interpretation Only	Available by phone or in person with advance notice anytime.	(H) 301-515-7461	
Vietnamese, French	Huan	Phan	M	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available Sa-Su anytime.	(H) 301-622-4516	
Vietnamese, French	Tin	Tran	F	Crisis OK	Oral Interpretation	Available by phone anytime or in person 8am-6pm.	301-299-3263	
West Africa (Ghana): Twi, Ga, Shanti, Fanti; & Ewe	Elfrida	Nyarko	F	Crisis OK	Written Translation & Oral Interpretation	Available by phone or in person. Call M-F after 9pm, Sa-Su anytime at home. Call work ONLY for emergencies.	(H) 301-670-1974; (W) 301-517-2278 only in emergency	

第2 連合王国における実地調査関係資料

- 資料1 ① 人種・罪名別逮捕人員の構成比
② 人種・収容事由・年齢層・罪名・刑期別刑務所収容人員
③—1 人種・年齢層・男女・罪名別保護観察命令開始人員構成比
③—2 人種・年齢層・男女・罪名別社会奉仕命令開始人員構成比
③—3 人種・年齢層・男女・罪名別結合命令開始人員構成比
- 資料2 ILPS の資料, グリーンウィッチ地区及びレウウィツシャム地区の Black Self Development & Educational Attainment Groupwork Programme(BSDEAG)の要約版
- 資料3 ILPS の資料, INTERPRETERS IN ILPS A Brief Analysis of the Monitoring Forms Received in 1999, 2000
- 資料4 Language Line のパンフレット及びホームページの一部
- 資料5 ILPS の資料, CULTURAL AWARENESS BRIEFING THE VIETNAMESE COMMUNITY のタイムスケジュール表
- 資料6 Middlesex Probation Service の資料, 判決前調査のフォーム
- 資料7 Middlesex Probation Service の資料, Foreign Nationals Unit のミッションステートメント
- 資料8 Middlesex Probation Service の資料, 難民及び保護申請者の在留資格を理解するためのフローチャート
- 資料9 Middlesex Probation Service の資料, 犯罪で刑事司法システムに乗ることと退去強制との関係を理解するためのフローチャート
- 資料10 Middlesex Probation Service の資料, 受刑者の移送に関する国際協定を連合王国と有している国の一覧

資料1 ①人種別・罪名別逮捕人員の構成比

Table 5.5 Arrests for notifiable offences by offence and ethnic appearance 1999/2000

offence group	Ethnic appearance of person arrested					Total (100%)
	White	Black	Asian	Other	Not known	
England and Wales						
Violence against the person	87.2%	7.2%	4.0%	1.0%	0.7%	221,503
Sexual offences	82.9%	9.0%	5.4%	1.5%	1.2%	20,862
Robbery	65.1%	28.2%	5.0%	1.2%	0.6%	24,351
Burglary	90.8%	6.0%	2.0%	0.5%	0.7%	89,783
Theft and handling	88.7%	6.4%	3.2%	0.9%	0.8%	388,369
Fraud and forgery	76.7%	12.4%	8.2%	1.6%	1.0%	38,312
Criminal damage	91.4%	4.8%	2.4%	0.6%	0.7%	118,285
Drugs	84.3%	9.2%	5.1%	0.8%	0.6%	104,045
Other	85.9%	6.7%	5.4%	0.7%	1.3%	272,990
Total	87.0%	7.3%	4.0%	0.8%	0.9%	1,278,500

②人種別・收容事由別・年齡層別・罪名別・刑期別刑務所收容人員

Table 7.5 Prison population by ethnic group, type of prisoner, age group, offence group and sentence length 30 June 1999

	White		Black		Asian		Other		Not known		Total	
	Number	%	Number	%	Number	%	Number	%	Number	%	Number	%
Total ⁽¹⁾	52,377	100	7,964	100	1,929	100	2,225	100	34	100	64,529	100
Total remand	10,240	20	1,564	20	316	17	464	23	5	15	12,589	20
Untried	6,246	12	1,122	14	222	12	338	17	4	12	7,932	12
Convicted unsentenced	3,994	8	442	6	94	5	126	6	1	3	4,657	7
Sentenced	41,944	80	6,229	80	1,521	83	1,570	77	29	85	51,293	80
	Age group											
Aged 15-17	1,943	4	376	5	50	3	68	3	0	0	2,437	4
Aged 18-20	6,397	12	1,043	13	238	12	227	10	3	9	7,908	12
Aged 21-24	9,241	18	1,350	17	436	23	417	19	4	12	11,448	18
Aged 25-29	10,549	20	1,390	17	461	24	465	21	4	12	12,869	20
Aged over 30	24,247	46	3,805	48	744	39	1,048	47	23	68	29,867	46
Total	52,377	100	7,964	100	1,929	100	2,225	100	34	100	64,529	100
	Offence group⁽²⁾											
Violence against the person	9,089	22	1,104	18	370	24	283	18	12	41	10,858	21
Sexual offences	4,251	10	454	7	119	8	122	8	0	0	4,946	10
Burglary	7,953	19	628	10	84	6	112	7	3	10	8,780	17
Robbery	4,691	11	1,316	21	159	10	161	10	4	14	6,331	12
Theft and handling	3,881	9	329	5	105	7	94	6	2	7	4,411	9
Fraud and forgery	778	2	146	2	102	7	77	5	1	3	1,104	2
Drugs offences	5,567	13	1,733	28	356	23	507	32	6	21	8,169	16
Other offences	4,707	11	354	6	173	11	164	10	0	0	5,398	11
Not recorded	1,027	2	165	3	53	3	50	3	1	3	1,296	3
Total	41,944	100	6,229	100	1,521	100	1,570	100	29	100	51,293	100
	Sentence length											
Young offenders												
Up to 12 months	1,794	4	118	2	50	3	49	3	1	3	2,012	4
Over 12 months	4,976	12	996	16	198	13	142	9	5	17	6,317	12
All young offenders	6,770	16	1,114	18	248	16	191	12	6	21	8,329	16
Adults												
Up to 12 months	4,897	12	402	6	123	8	156	10	0	0	5,578	11
Over 12 months and up to 4 years	12,732	30	1,384	22	423	28	369	24	7	24	14,915	29
Over 4 years	17,545	42	3,329	53	727	48	854	54	16	55	22,471	44
All adults	35,174	84	5,115	82	1,273	84	1,379	88	23	79	42,964	84
Total	41,944	100	6,229	100	1,521	100	1,570	100	29	100	51,293	100

(1) Excludes 548 non-criminal prisoners and 99 fine defaulters

(2) Excludes fine defaulters.

③-1 人種別・年齢層別・男女別・罪名別保護観察命令開始人員構成比

Table 7.1 Offenders starting probation orders by ethnic group (1)

England and Wales 1998/99	Number of persons and percentage							
	Black	South Asian (2)	Other minority ethnic group	All minority ethnic groups	White	All recorded ethnic groups	Ethnic group not recorded %	All offenders
(a) by age and sex								
Males								
16	5.8	1.4	1.4	8.6	91.4	278	12.6	318
17	5.1	1.1	1.6	7.8	92.2	1,484	11.9	1,684
18 - 20	4.8	2.1	1.7	8.6	91.4	7,147	5.9	7,593
21 - 29	4.0	1.6	1.5	7.0	93.0	16,105	5.5	17,051
30 plus	4.8	1.2	1.6	7.5	92.5	15,021	6.9	16,141
Females								
16	7.3	-	3.6	10.9	89.1	55	14.1	64
17	2.4	0.8	2.4	5.5	94.5	253	12.2	288
18 - 20	4.3	0.9	1.7	6.9	93.1	1,640	8.3	1,788
21 - 29	5.0	0.8	1.2	7.0	93.0	3,996	6.8	4,289
30 plus	4.9	0.5	1.5	6.9	93.1	4,071	7.3	4,391
All persons	4.5	1.3	1.5	7.4	92.6	50,050	6.6	53,607
Population 18 to 54 in 1996 - 1998(LFS) (%)	2.2	3.4	1.4	7.0	93.0			
(b) by offence								
Violence against the person ¹⁾	4.9	1.1	1.5	7.5	92.5	5,120	7.5	5,536
Sexual offence	2.3	2.7	1.9	6.9	93.1	788	9.3	869
Burglary ²⁾	4.4	0.8	1.4	6.5	93.5	4,255	6.9	4,570
Robbery	15.0	1.6	3.1	19.7	80.3	193	17.2	233
Theft and handling stolen goods	4.6	1.2	1.6	7.4	92.6	13,888	6.4	14,833
Fraud and forgery	6.3	2.2	1.9	10.4	89.6	2,365	7.7	2,562
Criminal damage	3.2	0.8	0.8	4.7	95.3	1,329	6.9	1,428
Drugs offences	4.3	1.7	1.5	7.6	92.4	3,138	6.6	3,360
Other indictable offences	3.4	1.0	1.6	6.1	93.9	3,609	7.0	3,882
Summary offences	4.5	1.6	1.5	7.6	92.4	15,365	5.9	16,334
All offences	4.5	1.3	1.5	7.4	92.6	50,050	6.6	53,607

1) 22 areas were unable to provide meaningful figures for 1998/99. 1997/98 figures are included for 12 of those areas and 1996/97 figures for the other 10 areas. (See Table 7.6)

2) Indian, Pakistani and Bangladeshi.

③-2 人種別・年齡層別・男女別・罪名別社会奉仕命令開始人員構成比

Table 7.2 Offenders starting community service orders by ethnic group (1)

England and Wales 1998/99						Number of persons and percentage		
	Black	South Asian (2)	Other minority ethnic group	All minority ethnic groups	White	All recorded ethnic groups	Ethnic group not recorded %	All offenders
(a) by age and sex								
Males								
16	4.5	2.6	2.0	9.0	91.0	965	20.6	1,216
17	4.5	2.7	2.1	9.4	90.6	2,050	15.0	2,413
18 - 20	4.2	3.8	2.0	10.0	90.0	7,971	9.0	8,759
21 - 29	5.2	3.1	2.0	10.3	89.7	15,396	8.6	16,844
30 plus	6.9	1.8	1.8	10.4	89.6	13,086	9.1	14,402
Females								
16	8.0	-	1.3	9.3	90.7	75	24.2	99
17	1.4	0.7	0.7	2.9	97.1	139	14.2	162
18 - 20	5.9	1.3	1.6	8.8	91.2	639	10.8	716
21 - 29	7.9	1.2	1.8	10.8	89.2	1,476	8.5	1,613
30 plus	6.5	0.8	1.3	8.6	91.4	1,852	8.3	2,020
All persons	5.6	2.6	1.9	10.1	89.9	43,649	9.5	48,244
Population 18 to 54 in 1996 - 1998(LFS) (%)	2.2	3.4	1.4	7.0	93.0			
(b) by offence								
Violence against the person	5.0	2.7	1.6	9.3	90.7	5,637	10.0	6,261
Sexual offence	6.6	7.3	4.0	17.9	82.1	151	11.2	170
Burglary	3.3	1.5	1.7	6.5	93.5	3,092	9.4	3,412
Robbery	20.5	7.5	3.1	31.1	68.9	161	13.0	185
Theft and handling stolen goods	4.9	2.2	1.9	9.0	91.0	9,264	9.2	10,202
Fraud and forgery	10.9	4.3	3.3	18.4	81.6	3,012	8.9	3,307
Criminal damage	3.4	0.8	2.1	6.2	93.8	776	10.2	864
Drugs offences	6.6	1.9	1.2	9.7	90.3	2,391	9.7	2,649
Other indictable offences	4.6	3.3	1.7	9.6	90.4	4,555	10.3	5,080
Summary offences	5.7	2.7	1.9	10.3	89.7	14,610	9.3	16,114
All offences	5.6	2.6	1.9	10.1	89.9	43,649	9.5	48,244

1) 22 areas were unable to provide meaningful figures for 1998/99. 1997/98 figures are included for 12 of those areas and 1996/97 figures for the other 10 areas. (See Table 7.6)

2) Indian, Pakistani and Bangladeshi.

③-3 人種別・年齢層別・男女別・罪名別結合命令開始人員構成比

Table 7.3 Offenders starting combination orders by ethnic group (1)

England and Wales 1998/99	Number of persons and percentage							
	Black	South Asian (2)	Other minority ethnic group	All minority ethnic groups	White	All recorded ethnic groups	Ethnic group not recorded %	All offenders
(a) by age and sex								
Males								
16	5.4	2.8	2.2	10.4	89.6	317	8.6	347
17	4.7	1.3	1.6	7.6	92.4	854	7.6	924
18 - 20	4.4	2.3	1.6	8.2	91.8	3,540	4.8	3,718
21 - 29	4.7	2.4	1.7	8.8	91.2	6,537	4.1	6,816
30 plus	6.6	2.0	1.4	10.0	90.0	4,893	4.7	5,132
Females								
16	6.9	3.4	6.9	17.2	82.8	29	9.4	32
17	3.5	-	3.5	7.0	93.0	57	8.1	62
18 - 20	9.7	1.6	0.3	11.5	88.5	321	5.6	340
21 - 29	6.6	2.3	1.3	10.2	89.8	617	4.2	644
30 plus	11.0	0.1	1.0	12.1	87.9	702	3.7	729
All persons	5.6	2.1	1.6	9.2	90.8	17,867	4.7	18,744
Population 18 to 54 in 1996 - 1998(LFS) (%)	2.2	3.4	1.4	7.0	93.0			
(b) by offence								
Violence against the person	4.8	1.7	1.7	8.2	91.8	2,029	5.0	2,135
Sexual offence	3.3	7.6	-	10.9	89.1	92	5.2	97
Burglary	3.2	1.3	1.2	5.7	94.3	2,058	5.3	2,173
Robbery	18.6	6.0	2.4	26.9	73.1	167	10.2	186
Theft and handling stolen goods	5.2	1.8	1.6	8.6	91.4	3,280	4.1	3,420
Fraud and forgery	13.1	3.7	2.3	19.1	80.9	747	6.3	797
Criminal damage	3.3	0.6	0.9	4.8	95.2	330	3.8	343
Drugs offences	7.1	2.5	2.3	11.8	88.2	973	5.2	1,026
Other indictable offences	3.6	1.8	1.4	6.8	93.2	1,532	4.9	1,611
Summary offences	5.9	2.4	1.5	9.7	90.3	6,659	4.3	6,956
All offences	5.6	2.1	1.6	9.2	90.8	17,867	4.7	18,744

1) 22 areas were unable to provide meaningful figures for 1998/99. 1997/98 figures are included for 12 of those areas and 1996/97 figures for the other 10 areas. (See Table 7.6)

2) Indian, Pakistani and Bangladeshi.

資料2 ILPS の資料, グリーンウィッチ地区及びレウィッシュム地区の Black Self Development & Educational Attainment Groupwork Programme(BSDEAG)の要約版

EXECUTIVE SUMMARY

Greenwich and Lewisham Black Self Development & Educational Attainment Groupwork Programme (BSDEAG)

This paper describes the thinking behind the Greenwich and Lewisham Black Self-Development and Educational Attainment Groupwork programme (BSDEAG) for black offenders and the extent to which the first 4 groups realised its aims. It also considers some of the organisational issues that arose during the development process. For the purpose of this programme black is used in a political sense to include people from African-Caribbean, African, Asian and black British backgrounds, or in fact, anyone who would define themselves as not being white.

The Model of Change

Though black self-development groups have been running in ILPS for a number of years the Greenwich and Lewisham's BSDEAG sought to augment the scope of this work by combining an education, training and employment (ETE) element with the promotion of self-awareness and the development of social skills. The rationale underlying the group is based on the premise that exposure to the, often subtle, effects of racism leads many black people to feel alienated from, or marginal to, the larger society. If individuals internalise racist attitudes this can damage their perception of themselves and this may, in turn, have implications for their behaviour. The group, therefore, attempts to address offending behaviour by working through a process which starts with an examination of oppression related matters such as social exclusion and discrimination, then seeks to move individuals on to looking at how their own beliefs may relate to their general position in society, to their own behaviour and, in particular, to their offending behaviour. In this way the societal is related to the individual.

The approach draws upon control theory which argues that factors such as the existence of meaningful roles and relationships, a sense of belonging and identity, goal orientation, the ability to tolerate frustration and a strong self-concept as a law abiding person predict non-offending behaviour far better than the presence of 'criminogenic' factors predict offending. The programme attempts to develop a positive black self-identity, a sense of responsibility to the larger group and provide positive images of black achievement. In order to achieve this goal it adopts a holistic perspective that incorporates a number of different approaches, cognitive, humanistic and the development of both ETE and social skills. An equal value is placed on the affective, cognitive and behavioural aspects of the individual. As integral parts of the programme, the ETE component and links with community organisations provide routes through which developing confidence and skills can be channelled.

Organisation of the group

- The group lasts for 10 weeks. Attendance is two sessions a week, each lasting 3 hours with a 15 minute break.
- All facilitators are black.
- Attendance is not a condition of an order but it was made clear to participants that more than two absences would lead to exclusion from the group.

Targeting

- Attendance at assessment open days was compulsory and allowed for offenders to decide whether the programme suited them and for officers to assess suitability for the group.
- Offender were only accepted if this group appeared most appropriate to their offending related needs. Black offenders with, for example, temper problems would be referred to anger management groups.

Referral mechanisms

- Securing enough referrals is an ongoing problem. A lack of referrals constituted one reason for cancelling Group 3.
- Different methods of identifying potential group members were used to stimulate referrals.
- Mailing offenders directly led to more equal access to groupwork, independent of referring officer, than a policy of routine referral (inclusive referral).

Obtaining managerial support

- The programme has called for funding for ongoing consultancy and training. This was initially paid for by Crossroads, the ETE provider, but is now financed by ILPS.

Time issues

- Workload problems experienced by officers running earlier groups led to difficulties in finding sufficient time to adequately plan groups and fully familiarise themselves with the material.

Profile of group participants

- A broad range of ages (18-38) attended the groups.
- 20% of referrals were female, all these started the groups and all completed
- The course material is perceived to be relevant by participants from a range of African and Afro-Caribbean backgrounds. Though these groups had no members with Asian background this is likely to reflect the ethnic composition of the locale.
- People committing violent offences accounted for almost half the number of people starting the group, although only half of these completed

- The majority of referrals were unemployed and required assistance with ETE matters.
- OGRS2 scores of those who both started and completed the group ranged from 17% to 98%. The mean was 54%.

Attendance

- 22 black people started one of the 3 groups and 15 completed.
- As the courses ran the percentage of completers increased with the final course achieving a 100% completion rate
- Heavy time commitments required by the programme do not appear to affect completion.

Programme Integrity

- Through continuous discussions between group leaders and the consultant responsible for overseeing the programme a decision was made to extend the programme to 20 sessions and alter the sequence of some sessions.
- A decision was made to introduce ETE sessions further into the programme than envisaged as participants initially needed more time to develop awareness and accept some responsibility for their behaviour before being introduced to those parts of the programme that involve identifying avenues for moving on, aspects that constituted an integral part of the ETE component.

Feedback

- Feedback from offenders was very positive. Even areas singled out as in need of improvement tended to centre around how the work could be expanded over a longer period and extended to venues beyond the criminal justice system.
- Offending appears not central to participants' sense of identity, suggesting possibilities of their being able to build a positive self-image in which continued offending does not feature.
- For many being in an all black group was a new experience which they found valuable and safe.
- Closeness between group members resulted in a sense of belonging and identity.
- Groupwork material appears relevant to the experience of group participants given the degree of enthusiasm and interest generated.
- Black history, an area often neglected in group members' previous experience had a significant impact.
- Sessions covering relationships, self-awareness, goal setting and the ETE components of the group were also singled out as useful.
- The cycle of change was perceived as a useful way of thinking about one's experience.

Indications of change

- No psychometric test results were available to measure change. Equally reconviction data is not yet available.
- Given the background of many group members (heavy involvement with criminally inclined family or peers) any change achieved constituted a major achievement.
- Group members were able to use coursework materials to examine links between social factors and their own behaviour, past and future.
- Collective responsibility within the group was reported to be particularly strong.
- Group members were able to identify how skills involved in offending could be used in more constructive ways.
- It was reported that involvement in the group helped participants to develop new strategies for dealing with old predicaments.

Evaluating the mode of delivery

- Group leaders were able to overcome any initial scepticism group members may have felt about the possibility of receiving a genuinely helpful intervention from a white dominated criminal justice organisation.
- Group leaders' acute sensitivity to a broad range of group members' needs were essential to the success of the programme.

Recommendations

- Ensure continuing consultancy and training of all staff in black issues.
- Ensure accurate information concerning the programme is readily available.
- Consider using dedicated group-workers in order to address workload issues and facilitate the collection of data.
- Develop pre and post programme materials to fully prepare offenders for the group and to integrate the programme into the remainder of the order.
- Support the further development of the Delsol attitude questionnaire as an evaluation tool.

The model developed in Greenwich and Lewisham has now been adopted by other boroughs. We believe that their experience of running this group adequately demonstrates that providing separate provision for black offenders as by adopting a black perspective it can provide a framework within which group members can begin to understand the dynamics that link racism and their own their behaviour. In turn this process can provide a foundation upon which a sense of self, conducive to law-abiding behaviour can develop.

EXECUTIVE SUMMARY

Greenwich and Lewisham Black Self Development & Educational Attainment Groupwork Programme (BSDEAG) 全訳

本文書は黒人犯罪者に対するBSDEAGの背景にある考え方及びその目的を実現した最初の4つのグループがどこまで達成したのかを述べるものである。また、その発展過程において生じた組織面での問題もいくつか考察する。このプログラムの意図として、黒人とは、政策的な意味において、アフリカン・カリビアン、アフリカン、アジアン及びブラックブリティッシュ出身の者、あるいは、実際に自分自身を非白人とみなす者すべてを含む。

変化のモデル

長年にわたってロンドン保護観察所で実施されてきたblack self-development groupsを通じて、グリーンウィッチ及びレウィッシュムのBSDEAGは、教育、訓練及び雇用(ETE= education, training, and employment)という要素と、自己への気付き(self-awareness)の促進や社会的技能の向上を組み合わせることにより、その作業の範囲を広げてきた。前提となる理論的根拠は、(しばしば手の込んだ)人種主義の有りようにさらされることにより、多くの黒人が社会から疎外されている、あるいは周辺に置かれていると感じるようになる、という仮説である。もしも個々が人種主義的な態度を内面化するようになれば、それは彼らの自己認識を傷付けたり、また今度は、彼らの行動に影響したりするかもしれない。それゆえに、このグループは、社会的排除や差別といった迫害に関連する出来事を吟味することから始め、彼ら自身の信念が社会の中における彼らの位置、行動、とりわけ犯罪行為にどのようにかかわっているかに目を向けるよう促す、というプロセスを通して、犯罪行為に取り組もうとするものである。

このアプローチはコントロール理論を参考にしている。それは、意味ある役割や関係の存在、所属や同一性の感覚、目的志向、欲求不満耐性及び自分は法を守る人間であるという強い自己概念、といった要因の方が、「犯罪を起こしやすい」要因が犯罪を予測するより、ずっと良く非犯罪的な行動を予測する、という議論である。このプログラムは、ポジティブな黒人の自己同一性と社会に対する責任感を発達させ、黒人の業績へのポジティブなイメージを与えようとするものである。この目的を達成するために、プログラムは、認知的、人道主義的、といった様々な異なるアプローチに、ETEや社会的技能の発達を組み合わせる全体論的な観点を採用した。個人の情緒、認知、行動の側面には均等に価値が置かれた。そして、プログラムの統合的な部分においては、ETEの要素やコミュニティ組織とのつながりが、自信や技能が発達する道筋を提供する。

グループの組織

- ・ グループは10週間継続する。出席は週に2回であり、それぞれ15分の休憩をはさんだ3時間である。
- ・ ファシリテーターは全員黒人である。
- ・ 出席は命令ではないが、参加者は2回以上欠席するとグループからはずされることになるということを明確にされる。

対象

- ・ 任意の日に行われるアセスメントへの出席は義務である。そして、犯罪者はプログラムが自分に適しているかどうかを決めることができるし、職員は対象者のグループへの適性を査定することができる。

きる。

- ・ 犯罪者は、グループが彼らの犯罪に関連したニーズに最も適当であると思われた場合にのみ受け入れられる。たとえば、かんしゃくの問題を抱えた黒人犯罪者は、怒りの処理に関するグループ(anger management group) に委託されるであろう。

委託のメカニズム

- ・ 十分な委託を確保することは現在進行中の問題である。委託が不足することは、グループ3をキャンセルする理由の一つになっている。
- ・ 委託を促すために、潜在的なグループメンバーを同定する異なった方法が用いられる。
- ・ 委託担当の職員とは独立に直接犯罪者に郵便を出すことは、ルーティン的な委託(包括的な委託)の制度よりも、グループワークへのより平等なアクセスにつながった。

管理上の支援を得ること

- ・ プログラムは進行する相談業務と訓練のために資金を必要とする。当初はCrossroadsというETEのプロバイダによって支払われていたが、現在はILPSにより資金調達されている。

時間的な問題

- ・ 以前グループを実施していた職員によって経験された仕事量の問題は、適切にグループを計画したり、十分その問題に彼ら自身をなじませたりする十分な時間を見つけるのが難しいということであった。

グループ参加者のプロフィール

- ・ 幅広い年齢層が参加した(18~38歳)。
- ・ 委託の20%は女子であり、グループを始めた女子はすべて最後まで修了した。
- ・ コースの題材はアフリカンとアフロ・カリビアンを範疇の参加者には、妥当であると認識された。これまでグループにアジアの出身者はいなかったが、それはその地区の民族構成を反映しているようである。
- ・ 暴力犯罪を起こした者は、グループを開始するときのほぼ半数を数えたが、そのうち半分しか修了しなかった。
- ・ 委託の大半は無職者であり、ETE関係の援助を必要とした。
- ・ グループを開始した者と修了した者のOGRS2得点は17%から98%であり、平均は54%であった。

出席

- ・ 22名の黒人が3グループのどれかを開始し、15名が修了した。
- ・ コースが実施されるにつれ、修了者の割合が増え、最後のコースでは100%の修了率を達成した。
- ・ プログラムで要求される時間面での重い義務は、修了するかどうかに影響するようには思われない。

プログラムの誠実性

- ・ グループリーダーとプログラムの監督責任者との継続的な討議を通して、プログラムを20セッションにまで拡大することと、いくつかのセッションの順序を変更することが決定された。

- ・ ETEセッションを導入するのは、考えていたよりもプログラムの後の方にすることが決まった。参加者が当初、より多くの時間を要求したのは、ETEの要素の統合に移る道筋を見つける部分より前に、気づきを発達させることや自分たちの行動について責任を受け入れることであった。

フィードバック

- ・ 犯罪者からのフィードバックは非常にポジティブなものであった。改善が必要であるとして選び出された領域でさえも、いかにそのワークが長期にわたり拡大され得るか、刑事司法システムの明星へとつながり得るかということに集中する傾向があった。
- ・ 犯罪行為は参加者のアイデンティティの中心にあるようには思われぬ。それは、彼らがポジティブな自己イメージを作り上げることができる可能性を示唆しており、そうした自己イメージの中では継続した犯行が目立たない。
- ・ 多くの者にとって、すべて黒人のグループに参加したことは、価値あることや安全を発見した新しい経験であった。
- ・ グループメンバー間の近接性が所属やアイデンティティの感覚に結びついた。
- ・ 参加者の経験に適切とみなされたグループワークの題材は、おおいに熱中や関心を生んだ。
- ・ しばしばグループメンバーの過去の経験においては無視されていた黒人の歴史は、かなりインパクトがあった。
- ・ 関係性、自己への気づき、目標設定及びETEの要素をカバーするセッションは有用であるとして選び出された。
- ・ 変化のサイクルは個人の経験について考える方法として役に立つと知覚された。

変化の兆候

- ・ 変化を測定するような、精神測定学的なテスト結果は手に入らなかった。同様に、再犯データも今のところ手に入らない。
- ・ 多くのグループメンバーのバックグラウンド（犯罪に傾いた家族や仲間との強い結びつき）に何か変化を与えることが、大きな達成の一部となった。
- ・ グループメンバーは、コースワークの題材を使って、社会的要因と彼ら自身の行動、過去と未来とのつながりを吟味することができた。
- ・ グループ内の共同の責任がとりわけ強力であったと報告された。
- ・ グループメンバーは、犯罪に用いられた能力を建設的方法で使い得る方法を見つけることができた。
- ・ グループに参加することは、参加者が古い困難に対処するための新しい方法を発達させるのに助かったという報告があった。

伝達方法の評価

- ・ グループリーダーは、初期の懐疑的な態度を克服することができた。グループメンバーは、白人支配的な刑事司法組織から純粋に役立つ介入を受ける可能性を感じたと思われる。
- ・ 幅広いグループメンバーのニーズに対するグループリーダーの敏感な感受性がこのプログラムの成功には必要不可欠であった。

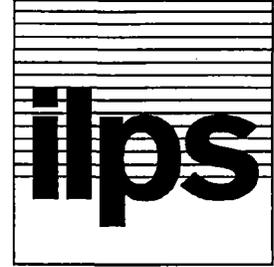
勧告

- ・ 黒人の問題に関して、すべてのスタッフの相談や研修を行い続けること。
- ・ プログラムに関する正しい情報がいつでも手に入るようにすること。
- ・ 仕事量の問題に取り組み、データの収集を促進するために、専任のグループワーカーの登用を考慮すること。
- ・ 犯罪者たちに十分グループの準備をさせたり、プログラムを整理して思い出させたりするために、プログラムの子習復習の題材を発展させること。
- ・ 評価のツールとしてのDelsol態度質問紙の更なる発展を支援すること。

現在、グリーンウィッチとレウィッシュャムで発展したモデルが他の区にも採用されてきている。我々は、このグループ運営の経験が、以下のことを適切に証明していると信じている。つまり黒人の観点を採用することにより、黒人の犯罪者に対する別の対処方法を提供することである。それは、グループメンバーが人種主義と彼ら自身の行動とを結びつけるダイナミクスを理解し始めることができるような枠組みを与える。そして、このプロセスは、遵法行為の助けになる、自己の感覚を発達させる基礎を提供することができるのである。

資料3 ILPS の資料, INTERPRETERS IN ILPS A Brief Analysis of the Monitoring
Forms Received in 1999,2000

INNER LONDON PROBATION SERVICE



INTERPRETERS IN ILPS

A Brief Analysis of the Monitoring Forms Received in 1999

*David Monk,
Assistant Chief Probation Officer
71/73 Great Peter Street,
London SW1P 6BN*

INTERPRETERS IN ILPS**A Brief Analysis of the Monitoring Forms Received in 1999**
(31.12.98 – 01.01.00)

This paper contains information gathered from a total of 1040 monitoring forms submitted by probation officers for the year 1999.

The information assessed covers the following areas:

- ◆ The number of times interpreters have been used, by borough (Table 1)
- ◆ The number of times interpreters have been used, by office (Table 2)
- ◆ The number of languages used (Table 3)
- ◆ The tasks for which the interpreters were used and the number of times each task was carried out (Table 4)
- ◆ The sources from which the interpreter was obtained (Table 5)
- ◆ The level of the interpreters' performance/competence (Table 6)

In a number of instances, certain sections of the Monitoring Forms have not been filled in. These areas are shown in the relevant tables under the headings: (a) Blank and (b) No office entered.

Comments on each area and the relevant tables follow.

A summary of observations made appears at the end of this paper.

The number of times interpreters have been used (by borough):

As is evident from Table 1, Lambeth is the borough, where the use of interpreters is most prevalent, due to a significant number of ethnic communities including refugees, who have been resettled in that area. In all cases where interpreters were used Lambeth stands at 21.7 %, followed by Central London (Kensington/Chelsea & Westminster) where the use of interpreters is 17.5% and Camden & Islington at 9.4%.

TABLE 1

BOROUGH	CountOfBOR
LAMBETH	226
CENTRAL LONDON	182
CAMDEN & ISLINGTON	98
HACKNEY	87
TOWER HAMLETS	76
HAMMERSMITH & FULHAM	63
SOUTHWARK	55
WANDSWORTH	51
COMMUNITY SERVICE	49
LEWISHAM	47
BLANK	37
GREENWICH	28
CROWN COURTS	26
PRISONS	10
HOSTELS	5

The number of times interpreters used (by office):

In 1999 Dorset Close was the office which had the most frequent use of interpreters (15.6%) followed by Stockwell Road with (8.4%) of the total number of times an interpreter was used by ILPS.

A wide range of languages was used in both offices, 19 languages in Dorset Cl. and 11 languages in Stockwell Road. Whilst Dorset Close listed Arabic and Italian as the most commonly used languages Portuguese was the top language in demand in Stockwell Rd. and other Lambeth offices.

TABLE 2

ILPS Office	CountOfILPS Office
DORSET CLOSE	163
STOCKWELL ROAD	88
ASKEW ROAD	64
CLAPHAM HIGH STREET	63
REED HOUSE	55
HARPENDEN HOUSE	55
ST JOHN STREET	52
EAST HILL	37
LEWISHAM HIGH STREET	34
ENGLEFIELD ROAD	31
CHISWICK COMMUNITY SERVIC	29
CAMDEN HOUSE	28
GREAT DOVER STREET	27
MORNINGTON GROVE	26
KIMPTON ROAD	24
CAMBRIDGE HEATH ROAD	24
CROXTED ROAD	20
HOLLOWAY ROAD	19
NO OFFICE ENTERED	18
POWIS STREET	17
LATCHMERE ROAD	14
RIVERSIDE HOUSE	14
GREENWICH HIGH ROAD	13
BASINGHALL STREET	13
NOTTING HILL GATE	12
SOUTHWARK COMMUNITY SER	9
MIDDLESEX GUILDHALL	9
GREENWICH COMMUNITY SERV	9
ALFRED STREET	8
BLACKFRIARS CC	8
CAMBRIDGE HEALTH ROAD	7
RATHBONE PLACE	7
RICHBOURNE TERRACE CS	7
INNER LONDON CC	7
CENTRAL CRIMINAL COURT	6
CANADIAN AVENUE	6
HMP PENTONVILLE	5
HDC UNIT	3
CAMBERWELL ROAD	3
HMP HOLLOWAY	2
WOOLWICH CC	1
HMP LOWDHAM GRANGE	1
SOUTHWARK CROWN COURT	1
HMP BRIXTON PRISON	1

The number of languages used:

The forms received in 1999 show Vietnamese and Portuguese with the highest percentage of use, i.e. Portuguese equalling 10.4% and Vietnamese 9.7%. The fluctuation in the demand for languages stems from global events such as wars, natural disasters, etc. These events result in an influx of the nationals from countries where these events occur and a number find their way onto ILPS caseload. However as observed over the past 4 to 5 years, the top ten languages on the list have remained fairly steady and the only fluctuation observed has been within this bracket.

TABLE 3

LANGUAGE	CountOfLANGUAGE ID
PORTUGUESE	109
VIETNAMESE	101
FRENCH	87
SPANISH/LATIN AMERICA	86
ARABIC	74
TURKISH	67
ITALIAN	65
BENGALI	65
ALBANIAN	61
POLISH	54
ROMANIAN	47
SIGN LANGUAGE	44
SOMALI	25
TAMIL	22
RUSSIAN	22
KURDISH	18
CHINESE/MAND/CAN.	16
CHINESE/CANTONESE	15
LINGALA	12
PUNJABI	8
BENGALI(SYLHETI)	8
PERSIAN (FARSI)	6
DUTCH	4
URDU	3
TIGRINYA	3
AMHARIC	3
ALGERIAN	3
BOSNIAN	2
BERBER	1
BRAVANESE	1
GEORGIAN	1
GREEK	1
GUJERATI	1
KOREAN	1
SERBO CROAT	1
SWAHILI	1
THAI	1
JAMAICAN PATOIS	1

The tasks for which interpreters were used and the number of times each task was carried out:

The tasks/purposes for which the services of an interpreter(s) was used can roughly be divided into 2 categories

- a) The initial interview/ report writing session or placement interview, shown on table 4 as PSR
- b) The subsequent interviews, shown on the table as ONGOING

In addition to these 2 categories, situations can arise where the interpreter arrives and the individual who is supposed to be interviewed, does not show up. This section is shown as FAIL TO ATTEND in the table. Finally, there are forms which are incompletely filled, which makes it impossible to ascertain the purpose of the interview, this part comes under the heading BLANK in the table.

Table 4 shows that of all the tasks undertaken during 1999, PSR constitutes almost half – approximately 46%, ongoing interviews made up 31.6 percent of all the tasks.

A finding which is a matter for some concern relates to item 3 of the table – FAIL TO ATTEND. The table shows that during the 12 months of 1999, 187 persons have failed to keep their appointment with their probation officer. It is possible that these individuals have not understood the importance and/or the need for presenting themselves and one can therefore conclude that this has happened, because the individual did not have an adequate command of English and could not understand the contents of the appointment letter.

This has legal and financial implications, which should be noted: In line with National Standards and the requirements of the law and taking into consideration the pending incorporation of the Human Rights Charter into UK legislation, ILPS should develop a range of standard appointment letters, which could be translated into different languages. Every time an individual misses their appointment, ILPS pays the interpreter, who has presented themselves on time, the sum of £40.00 plus travelling expenses. If we take £4.00 as an average travel fee, in 187 instances paying £44 each time, means that ILPS has paid the sum of £8228 for nothing, as the interpreter could not offer a service in the absence of the client.

TABLE 4

CountOfTask undertaken	TASK UNDERTAKEN
480	PSR
329	ONGOING
187	FAIL TO ATTEND
44	BLANK

Sources from which interpreters were obtained:

This is one of the two sections of the Monitoring Form, which is frequently left blank. As the Table 5 shows 35.4% percent of the forms were not filled in. Twenty one percent (20.6%) were shown as court interpreters, 32.5% were from the ILPS Interpreters List and 11.3% had been obtained from other sources. In addition there is also a degree of inaccuracy in the data entry, for example I interpreters from the ILPS List are listed under Other sources or vice-versa.

TABLE 5

Source of Interpreter	CountOfSource
BLANK	369
COURT INTERPRETER	215
ILPS DIRECTORY	338
OTHER	118

The level of interpreter performance/competence

In this as in the above table, a large number of forms have been left blank, also in cases where the client has not shown up, the interpreters performance was obviously not filled in. In Table 6, 44.1% are shown as Excellent, 18.7% as Good, 1.5% as Fair and 0.4% as Poor. In 35% of the cases, this section of the form was left blank.

TABLE 6

Performance	CountOfPerfo
EXCELLENT	459
BLANK	365
GOOD	195
FAIR	16
POOR	5

SUMMARY OF STATS:

No. of Monitoring Forms Received.....	1040
No. of Languages/Dialects Used.....	37
No. of Boroughs (submitting forms).....	10
No. of Offices, etc(" ").....	43

Summary of Observations:

- ❖ Most sections of the Monitoring Forms has been adequately filled in, with two exceptions
 - a) Source of Interpreter b) Level of Interpreter Performance
- ❖ The number of clients who failed to attend their appointments is considerable. The reason could be that they have not grasped the importance/necessity of attending an interview at the correct time/date. This indicates an urgent need for preparation of standard appointment letters in the various languages.
- ❖ Although the demand for interpreters in different languages fluctuates, global political and other events being the main factor, as observed the first ten languages listed have held steady for a couple of years and the only fluctuation observed has been within this group. The languages are listed in order of priority.
Vietnamese, Portuguese, Spanish, French, Arabic, Turkish, Italian, Bengali, Albanian, Polish.
- ❖ Analysis of the Monitoring forms indicates the need for improvement in the quality of data entry. This could be incorporated into current 1st year probation officer training designed to help POs work effectively with interpreters.

Ayesha Tarzi, FOC
April 2000

資料4 Language Line のパンフレット及びホームページの一部

When to use Language Line

Language Line should be used as a complement to any other professional language services you may have. It is ideal for:

- Emergencies
- First contact situations
- Enquiries/Referrals
- Confirming and making appointments
- Giving and receiving information
- Short interviews

Language Line puts professional interpreters on the phone in seconds.

Over 100 languages are available 24 hours a day, 7 days a week.

There is no need to book and no special equipment is needed as you can simply pass the handset between yourself and your customer. However, you may prefer to:

- Plug 2 telephones into one line
- Use a hands-free telephone

Document needs translating?

If you need a document translated telephone:
020 7520 1425 or email: translations@languageLine.co.uk

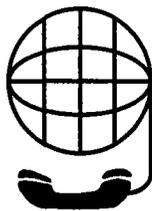
Remember...

- Before contacting Language Line think about what you will need to ask your customer
- Behave as you would in a normal conversation: observe the normal courtesies e.g. maintain eye contact where appropriate, if face-to-face with the customer
- You are in control of the conversation
- The interpreter will only translate the words you say
- To help the interpreter, break up your questions/information into concise points and do not ask more than one or two questions at a time
- Use direct speech; where possible avoid jargon and technical terms
- Do not be afraid to double-check or rephrase if you feel there has been a misunderstanding
- Interpreters cannot give advice or opinions and are obliged to remain neutral



Language Line

Printed on recycled paper



Language Line

Your Guide to Using Language Line

Telephone Interpreting
020 7713 0090

ID CODE

L

Please ensure that you are using the correct code for your department

Tel: 020 7520 1430

Fax: 020 7520 1450

Email: info@languageLine.co.uk
www.languageLine.co.uk

11-21 Northdown Street

London N1 9BN

When your customer is with you

- 1. Telephone Language Line on 020 7713 0090**
The operator will ask you for:

- Your ID Code
- Your organisation name (and department, where appropriate)
- Your name (initial and surname)
- The language you require*
- The location of your customer

2. You will be put on hold

- Approximately 90 seconds later the operator will connect you to an interpreter
- Make a note of the interpreter's ID number

3. Brief the interpreter (e.g. explaining Who? Where? and What?)

- Advise the interpreter what phone set up you have e.g. single handset, speaker phone, two handsets
- Ask them to introduce you and themselves
- Follow this with your lead question e.g. How may I help you?

4. Proceed with the conversation

- The interpreter will relay the information between you

5. End the call by saying

- "I have all the information I need, is there anything else you would like to ask me?"
- If you need an interpreter of a specific gender we will meet your request whenever possible

When you are calling your customer

- 1. Telephone Language Line on 020 7713 0090**
The operator will ask you for:

- Your ID Code
- Your organisation name (and department, where appropriate)
- Your name (initial and surname)
- The language you require*
- The location of your customer
- The name and telephone number of your customer

2. You will be put on hold

- Approximately 90 seconds later the operator will connect you to an interpreter
- Make a note of the interpreter's ID number

3. Brief the interpreter (e.g. explaining Who? Where? and What?)

- Advise them that Language Line is setting up a conference call for you
- Ask them to introduce you and themselves when the client is connected

4. The operator will connect your customer

5. Proceed with the conversation

- The interpreter will relay the information between you

6. End the call by saying

- "I have all the information I need, is there anything else you would like ask me?"
- If you need an interpreter of a specific gender we will meet your request whenever possible

When your customer calls you and your telephone has conference facilities

- Set up a conference call using your company's procedure
- Follow the procedures for *'When your customer is with you'* informing the operator your customer is on hold
- Reconnect your customer once you have briefed the interpreter

Please note: it is useful to take your customer's telephone number in case they hang up whilst on hold

When your customer calls you and your telephone has no conference facilities

Take your customer's:

- Language
- Name
- Full telephone number
- Assure your customer that you will be calling back shortly with an interpreter
- Follow the procedures for *'When you are calling your customer'*

Please call us with feedback on the service
020 7520 1440

LanguageLine



■ Contact ■ About ■ Frequently Asked Questions ■ Fun ■ Cultural Links

Interpreters on the phone in seconds

- Quality Standards
- How To Use Language Line
- Languages
- Text Translations
- Telephone interpreting in the business sector
- How to Subscribe
- Training
- Vacancies
- Home

LANGUAGES AVAILABLE

Afrikaans	Ethiopian	Kurdish	Serbian
Akan	Fanti	Latvian	Sinhalese
Albanian	Farsi	Lingala	Slovak
Amharic	Finnish	Lithuanian	Somali
Arabic	Flemish	Luganda	Spanish
Armenian	French	Macedonian	Swahili
Ashanti	Ga	Malay	Swedish
Assamese	Georgian	Malayalam	Sylheti
Assyrian	German	Maltese	Tagalog
Azerbaijani	Greek	Mandarin	Taiwanese
Bengali	Gujarati	Mandinka	Tamil
Berber	Hakka	Marathi	Telegu
Bosnian	Hausa	Mirpuri	Thai
Bulgarian	Hebrew	Mongolian	Tibetan
Burmese	Hindi	Moroccan	Tigrinian
Cantonese	Hungarian	Nepalese	Turkish
Catalan	Icelandic	Nigerian	Twi
Croatian	Igbo	Norwegian	Ukrainian
Czech	Indonesian	Philippino	Urdu
Danish	Italian	Polish	Uzbek
Dari	Japanese	Portuguese	Vietnamese
Dutch	Kashmiri	Punjabi	Welsh
Eritrean	Kazakh	Pushtu	Wolof
Estonian	Korean	Romanian	Xhosa
	Kreo	Russian	Yiddish
			Yoruba

This list reflects current demand and may be subject to change. If our interpreters are not available immediately, we will arrange a time to call you back, often within a few minutes.

If you need a language that is not listed here, please ring us anyway. We may be able to handle the call.

資料 5 ILPS の資料, CULTURAL AWARENESS BRIEFING THE VIETNAMESE
COMMUNITY のタイムスケジュール表

**CULTURAL AWARENESS BRIEFING
THE VIETNAMESE COMMUNITY
TUESDAY 16 NOVEMBER 1999
9.00AM – 1.00PM
CONFERENCE ROOM
ILPS HEAD OFFICE**

9.00	Arrival and registration	
9.30	Introduction: Objectives, groundrules, expectations, housekeeping	DM
9.40	Ice Breaker Quiz: What do we know about Vietnam and the Vietnamese community in Britain and the world?	AT
9.55	Facts and Figures: Information about geography, population, religion, trade, census data, family breakdown, ILPS caseload	AT
10.15	Presentation 1: The family and cultural issues	VT
10.30	Discussion – Practice implications	
10.45	Comments and questions	
11.00	Refreshments	
11.20	Presentation 2: Crime	PC
11.35	Discussion – Practice implications	
11.50	Comments and questions	
12.05	Presentation 3: Employment, training and education	LV
12.20	Discussion – Practice implications	
12.35	Final comments and questions	
12.50	Plenary	
1.00	Lunch	



CRN:

資料 6 Middlesex Probation Service の資料, 判決前調査のフォーム

STRICTLY CONFIDENTIAL

OFFICER COMPLETING PSR		TEAM		SENTENCING COURT*	
DEFENDANT'S SURNAME				INITIALS	
SEX* MALE <input type="checkbox"/> FEMALE <input type="checkbox"/>		DATE OF BIRTH		MAGISTRATES & YOUTH COURTS	
RACE*		D D M M Y Y		Acton	
Black <input type="checkbox"/>		PROBLEMS/ISSUES IDENTIFIED AT PSR STAGE		Barnet	
White <input type="checkbox"/>		Employment <input type="checkbox"/>		Brent	
Other <input type="checkbox"/>		Accommodation <input type="checkbox"/>		Brentford	
Refused <input type="checkbox"/>		Finances <input type="checkbox"/>		Ealing	
ETHNIC ORIGIN		Family/Personal Relationships <input type="checkbox"/>		Enfield	
Please enter code <input type="text"/>		Domestic Violence <input type="checkbox"/>		Feltham	
HOUSING STATUS*		Offending Behaviour <input type="checkbox"/>		Haringey (Highgate)	
Not Homeless <input type="checkbox"/>		Violence/Self Control <input type="checkbox"/>		Haringey (Tottenham)	
Temporary Accommodation <input type="checkbox"/>		Alcohol <input type="checkbox"/>		Harrow	
Unsatisfactory Accommodation <input type="checkbox"/>		Drugs <input type="checkbox"/>		Hendon	
Completely Homeless <input type="checkbox"/>		Gambling <input type="checkbox"/>		Uxbridge	
EMPLOYMENT STATUS*		Mental Health <input type="checkbox"/>		Other - Inner London	
Fully Employed <input type="checkbox"/>		Other Health <input type="checkbox"/>		Other - Outer London	
Government Scheme <input type="checkbox"/>		Sex Offending <input type="checkbox"/>		Other Elsewhere	
Unemployed <input type="checkbox"/>		Child Protection Issues <input type="checkbox"/>		CROWN COURT CENTRES	
Other <input type="checkbox"/>		Peer Group Influences <input type="checkbox"/>		Harrow	
PRINCIPAL OFFENCE		Leisure <input type="checkbox"/>		Isleworth	
RACIAL MOTIVATION IDENTIFIED		Social Skills <input type="checkbox"/>		Wood Green	
TICK IF REMANDED IN CUSTODY		Education/Training <input type="checkbox"/>		Central Criminal Court	
TICK IF "PRE-HEARING" PSR		Previous Custody <input type="checkbox"/>		Other - Inner London	
KEY DATES		Five & Previous Convictions <input type="checkbox"/>		Other - Outer London	
DATE PSR REQUESTED		DATE OF SENTENCE (DD-MM-YY)		Other - Elsewhere	
DD - MM - YY		DATE PSR "PRODUCED"		SENTENCES MADE (Record amount/length where appropriate or tick)	
COMMUNITY SENTENCE PROPOSED*		LENGTH		SENTENCE	
Supervision Order				Discharge	
Supervision Order & Requirements				Fine (Units)	
Attendance Centre Order				Compensation (£)	
Probation Order				MPISO	
Probation Order & Requirements				Supervision Order	
Prob. Order & Probation Centre				Supervision Order & Reqs.	
Prob. Order & Residential Req.				Attendance Centre Order	
Prob. Order & APH Requirement				Probation Order	
Community Service Order				Prob. Order & Requirements	
Curfew Order				Prob. Order & Prob. Centre	
Combination Order				P. O. & Resident. Req.	
Comb. Order & Any Requirements				P. O. & APH Requirement	
None - not serious enough				Community Service Order	
None - so serious				Curfew Order	
DTTO				DTTO	
Anti Social Behaviour Order				Anti Social Behaviour Order	

資料7 Middlesex Probation Service の資料, Foreign Nationals Unit のミッションステ
ートメント

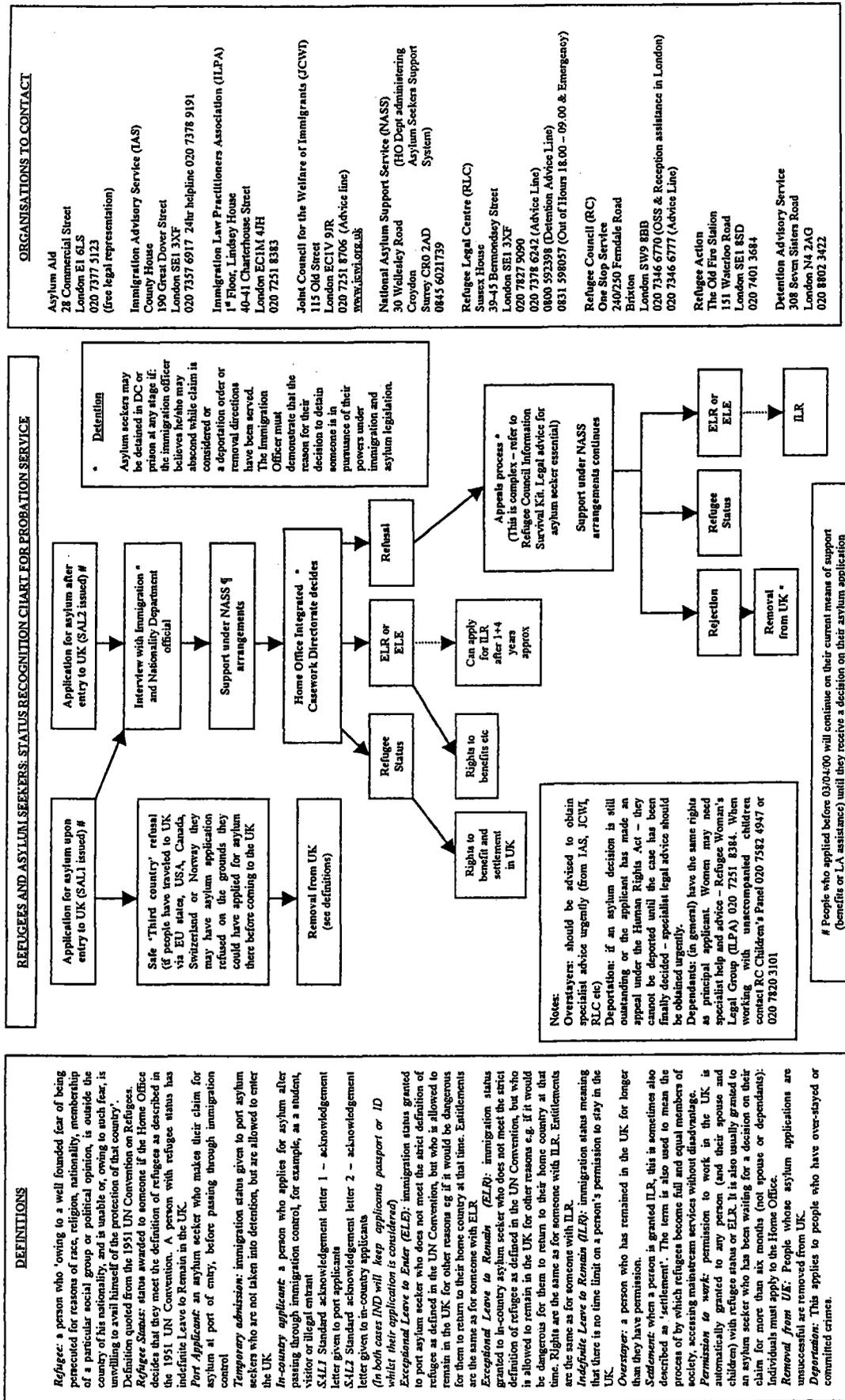
MIDDLESEX PROBATION SERVICE

FOREIGN NATIONALS UNIT

1. To provide services to non-Uk residents appearing initially at Uxbridge Magistrates Court.
2. To prepare PSR's on all non-UK residents in the above category following establishment of guilt.
3. To prepare the defendant for sentence including appropriate liaison with custodial institutions.
4. To undertake developmental work concerning non-UK residents including promotional and teaching activities.
5. To maintain data on this offender group for research/information needs of Middlesex Probation Service and the Foreign Nationals Unit.
6. To provide advice to Probation Officers in Middlesex and from elsewhere who are working with foreign nationals.
7. To provide information and advice to MPS management concerning the strategic development of the work of the Unit and the work of MPS with foreign nationals.

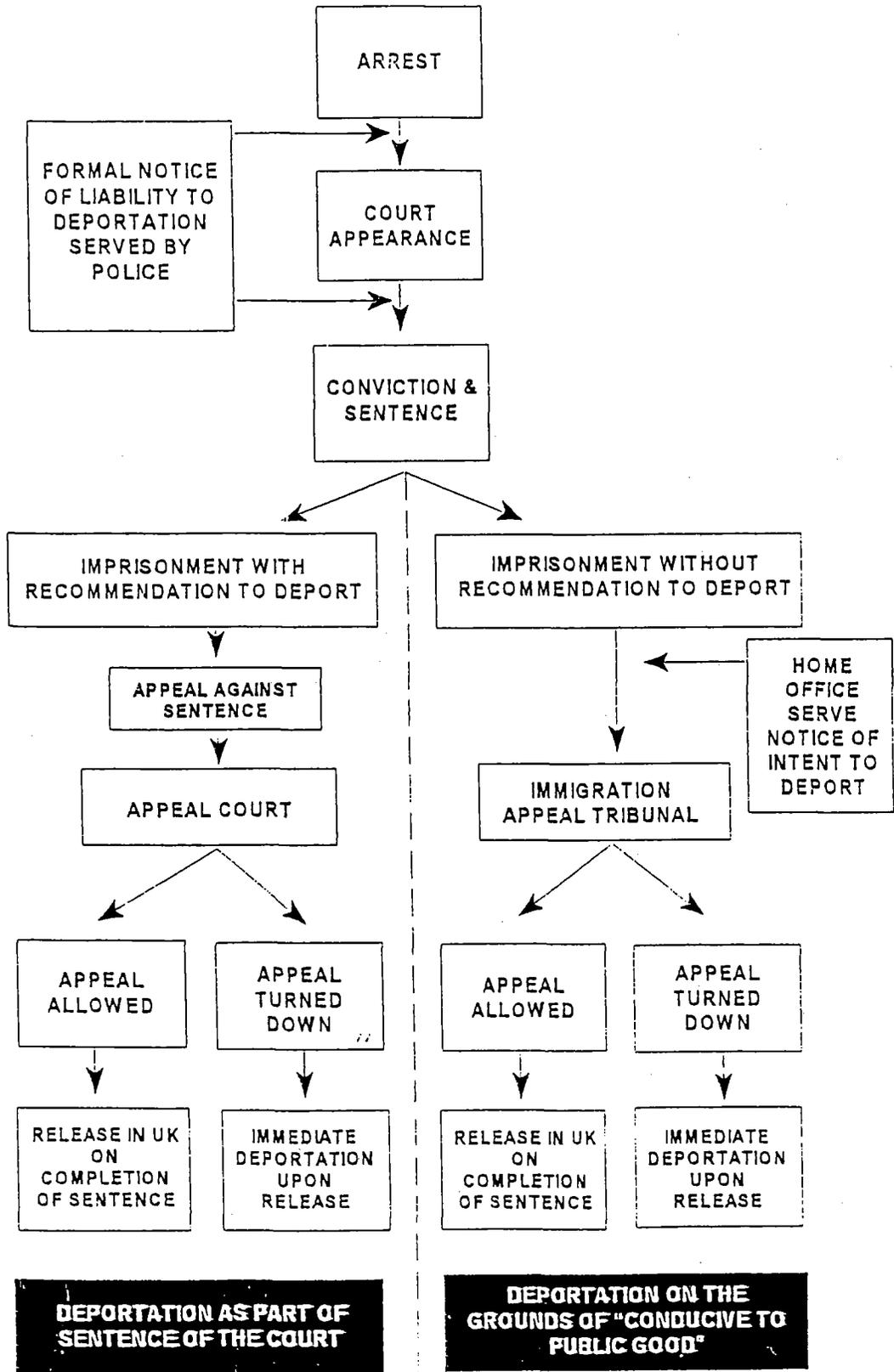


資料8 Middlesex Probation Service の資料、難民及び保護申請者の在留資格を理解するためのフローチャート



資料9 Middlesex Probation Service の資料, 犯罪で刑事司法システムに乗ることと退去強制との関係を理解するためのフローチャート

Criminal Conviction and Deportation



資料 10 Middlesex Probation Service の資料, 受刑者の移送に関する国際協定を連合王国と有している国の一覧

ARRANGEMENTS FOR THE INTERNATIONAL TRANSFER OF PRISONERS

COUNCIL OF EUROPE CONVENTION ON THE TRANSFER OF SENTENCED PERSONS RATIFIED COUNTRIES (WITH DATE ENTRY INTO THE CONVENTION CAME INTO FORCE.)

Andorra	Austria (1987)	Belgium (1990)	Bulgaria (1994)
Croatia (1995)	Cyprus (1986)	Czech rep. (1993)	Denmark (1987)
Estonia (1997)	Finland (1987)	France (1985)	Georgia (1998)
Germany (1992)	Greece (1988)	Hungary (1993)	Iceland (1993)
Ireland (1995)	Italy (1989)	Latvia (1997)	Liechtenstein (1998)
Lithuania (1996)	Luxembourg (1988)	Malta (1991)	Netherlands (1993)
Norway (1993)	Poland (1995)	Portugal (1993)	Romania (1996)
Slovakia (1993)	Slovenia (1994)	Spain (1985)	Sweden (1985)
Switzerland (1988)	FYR Macedonia (1999)	Turkey (1988)	Ukraine (1996)
United Kingdom (1985)			

NON COUNCIL OF EUROPE MEMBER STATES (of the convention on the transfer of sentenced persons)

Bahamas (1992)	Canada (1985)	Chile (1998)	Costa Rica (1998)
Israel (1998)	Panama (1999)	Trinidad and Tobago (1994)	
United States of America (1985)			

COUNTRIES WHO ARE SIGNATORIES, OR ABOUT TO BE, TO THE CONVENTION (but whose entry into the convention is not yet in force.)

Albania	Australia (cannot sign until all six Australian States agree.)		
Moldova	Russia	San Marino	Venezuela

COMMONWEALTH SCHEME FOR THE TRANSFER OF CONVICTED OFFENDERS.

(inc. some who are non Council of Europe member states of the convention on the transfer of convicted prisoners)

Canada Grenada Malawi Nigeria Trinidad and Tobago
Zimbabwe

BILATERAL AGREEMENTS FOR THE TRANSFER OF PRISONERS

Egypt Thailand Brazil (currently before parliament)
Special Administrative Region of Hong Kong

RESIDENTS OF THE FOLLOWING BRITISH DEPENDENT TERRITORIES MAY ALSO APPLY FOR REPATRIATION:

Anguilla	British Indian Ocean Territory	British Virgin Islands
Cayman Islands	Falkland Islands	Gibraltar
Montserrat	Pitcairn Islands	Sovereign Base Area Cyprus
St Helena & Dependencies		

REPATRIATION / TRANSFER OF PRISONERS

The process is initiated by the prisoner, usually by means of an application to the prison governor.

A dossier is compiled and sent to the repatriation section at prison headquarters. This section then begins negotiations.

Requirements at outset –

- ◆ There must be a ratified treaty between the sending and receiving countries
- ◆ Prisoner must be a national of the country to which s/he wishes to go.
- ◆ No appeal against conviction or sentence may be in progress
- ◆ Prisoner must have at least 6 months to serve

For the transfer to happen –

The prisoner, the sending country and the receiving country must all agree.

Cont...

N.B.

- ◆ In general only a small number of prisoners transfer to and from the United Kingdom each year.
 - ◆ Some Embassies and High Commissions have written information they will send on request.
-

Information for this handout is from: The Transfer and Repatriation Service
Prison Administration Group
Room 707A, Cleland House
020 7217 6732
Fax: 020 7217 6280

And in part can be found at www.coe.fr/tablconv/112t.htm

This handout was compiled by: Middlesex Probation Service
Foreign National's Unit

The information is correct on: 12 April 2000

資料 10 Middlesex Probation Service の資料, 受刑者の移送に関する国際協定を連合王国
と有している国の一覧

STRICTLY CONFIDENTIAL

OFFICER COMPLETING PSR				TEAM				SENTENCING COURT*							
DEFENDANT'S SURNAME								INITIALS				MAGISTRATES & YOUTH COURTS			
SEX* MALE <input type="checkbox"/> FEMALE <input type="checkbox"/>				DATE OF BIRTH				Acton							
RACE*				D D M M Y Y				Barnet							
Black <input type="checkbox"/>				PROBLEMS/ISSUES IDENTIFIED AT PSR STAGE				Brent							
White <input type="checkbox"/>				Employment <input type="checkbox"/>				Brentford							
Other <input type="checkbox"/>				Accommodation <input type="checkbox"/>				Ealing							
Refused <input type="checkbox"/>				Finances <input type="checkbox"/>				Enfield							
ETHNIC ORIGIN				Family/Personal Relationships <input type="checkbox"/>				Feltham							
Please enter code <input type="text"/>				Domestic Violence <input type="checkbox"/>				Haringey (Highgate)							
HOUSING STATUS*				Offending Behaviour <input type="checkbox"/>				Haringey (Tottenham)							
Not Homeless <input type="checkbox"/>				Violence/Self Control <input type="checkbox"/>				Harrow							
Temporary Accommodation <input type="checkbox"/>				Alcohol <input type="checkbox"/>				Hendon							
Unsatisfactory Accommodation <input type="checkbox"/>				Drugs <input type="checkbox"/>				Uxbridge							
Completely Homeless <input type="checkbox"/>				Gambling <input type="checkbox"/>				Other - Inner London							
EMPLOYMENT STATUS*				Mental Health <input type="checkbox"/>				Other - Outer London							
Fully Employed <input type="checkbox"/>				Other Health <input type="checkbox"/>				Other Elsewhere							
Government Scheme <input type="checkbox"/>				Sex Offending <input type="checkbox"/>				CROWN COURT CENTRES							
Unemployed <input type="checkbox"/>				Child Protection Issues <input type="checkbox"/>				Harrow							
Other <input type="checkbox"/>				Peer Group Influences <input type="checkbox"/>				Isleworth							
PRINCIPAL OFFENCE				Leisure <input type="checkbox"/>				Wood Green							
RACIAL MOTIVATION IDENTIFIED <input type="checkbox"/>				Social Skills <input type="checkbox"/>				Central Criminal Court							
TICK IF REMANDED IN CUSTODY <input type="checkbox"/>				Education/Training <input type="checkbox"/>				Other - Inner London							
TICK IF "PRE-HEARING" PSR <input type="checkbox"/>				Previous Custody <input type="checkbox"/>				Other - Outer London							
KEY DATES				DATE PSR REQUESTED				Other - Elsewhere							
DD - MM - YY				DATE PSR "PRODUCED"				DATE OF SENTENCE (DD-MM-YY)							
COMMUNITY SENTENCE PROPOSED*				LENGTH				SENTENCES MADE (Record amount/length where appropriate or tick)							
Supervision Order								SENTENCE							
Supervision Order & Requirements								LENGTH							
Attendance Centre Order								Discharge							
Probation Order								Fine (Units)							
Probation Order & Requirements								Compensation (£)							
Prob. Order & Probation Centre								MPSO							
Prob. Order & Residential Req.								Supervision Order							
Prob. Order & APH Requirement								Supervision Order & Reqs.							
Community Service Order								Attendance Centre Order							
Curfew Order								Probation Order							
Combination Order								Prob. Order & Requirements							
Comb. Order & Any Requirements								Prob. Order & Prob. Centre							
None - not serious enough								P. O. & Resident. Req.							
None - so serious								P. O. & APH Requirement							
DTTO								Community Service Order							
Anti Social Behaviour Order								Curfew Order							
								DTTO							
								Anti Social Behaviour Order							